

**第1回 協働のまちづくりを実現する町民討議会議における  
町民アンケートと参加者への事後アンケートの実施と分析**

**2012年2月**

**南山大学総合政策学部前田研究室**

## 目次

### 第1章 目的

第1節 市民討議会について . . . P1

第2節 豊山町における町民討議会実施の目的 . . . P2

第3節 調査目的 . . . P2

### 第2章 調査方法

第1節 事前アンケートの概要 . . . P3

第2節 参加者事後アンケートの概要 . . . P4

### 第3章 アンケート結果の分析

第1節 回答者の属性 . . . P5

第2節 事前アンケートにおける町政への関心など . . . P8

第3節 事後アンケートにおける町民討議会の手続き評価など . . . P13

第4節 町民討議会事前・事後アンケート結果の比較 . . . P18

第4章 まとめ . . . P40

### 付録

事前アンケート（豊山町の今後のまちづくりと町民討議会にむけてのアンケート）質問紙

1 日目事後アンケート質問紙

2 日目事後アンケート質問紙

1 日目事後アンケート自由記述一覧

2 日目事後アンケート自由記述一覧

## 第1章 目的

### 第1節 市民討議会について

1990年代以降、代表制民主主義を補完する回路として、市民による討議過程を重視する討議デモクラシーが提唱されてきた。海外ではこの討議デモクラシーを制度化する試みがいくつかなされている。

プラーヌクスツェレはドイツの社会学者ペーター・C・ディーネルが1970年代に考案したものであり、都市計画分野をはじめとして多数の実施例がある。日本ではプラーヌクスツェレの本格的実施は見られないが、篠原（2004）の「市民の政治学」がきっかけとなり、プラーヌクスツェレを単純化したモデルが2005年7月に東京青年会議所千代田区委員会主催で「市民討議会」として初めて実施された（篠藤，2006）。

その後、同手法の開催は急速に全国に広がり、「市民討議会推進ネットワーク」事務局の集計では2011年10月30日現在で開催事例が200件にのぼるとされる。しかし市民討議会の内容や方法は多様であり、プラーヌクスツェレが基本となっていること以外、統一された制度・手法が現段階では確立しているわけではない。

プラーヌクスツェレの実施にあたっては、篠藤（2006）によれば、

1. 解決が必要な真剣な課題に対して実施する
2. 参加者は住民登録台帳から無作為で抽出する
3. 有償で一定期間の参加（4日間は標準）
4. 中立的独立機関が実施機関となりプログラムを決定する
5. ひとつのプラーヌクスツェレは原則25名で構成し、複数（最低4つ）開催する（一つの単位に対して2名の進行役がつく）
6. 専門家、利害関係者から情報提供を受ける
7. 毎回メンバーチェンジしながら約5人の小グループで参加者のみが討議を繰り返す
8. 「市民答申」という形で報告書を作成し参加した市民が正式な形で委託者に渡すといった原則があるとされる。

これに準じた形として、市民討議会にも

1. 参加者の無作為抽出
2. 参加者への謝礼の支払い
3. 公正・公平な運営機関
4. 参加者による小グループ討議
5. 報告書公表

といった5つの必要条件があるとされる（小針，2009）。

しかし、現実の市民討議会は必ずしもこれらの原則全てが守られた形で行われているわけではなく、その実態は多様である。とくに、プラーヌクスツェレとの違いとしては、現

在まで開催されてきた市民討議会の事例では、地域で賛否が対立した係争的なテーマなどといった解決が必要な課題ではなく、地域の安全・安心など総論としては多くの人が賛成するような当たり障りのない課題が討議テーマに設定される事例が多いこと、開催期間が1日から2日間と短期間のものが多いこと、無報酬の事例も見られるなど基本原則から外れた事例も散見される。また、実施機関について、日本においては現在のところ市民討議会開催の中心団体が全国各地の青年会議所（JC）であり、世界の他の討議デモクラシーの手法のほとんどが学術研究機関や、政府のトップダウンで行われていることと比較すると、民間団体の草の根運動で広がっている点に大きな特徴があると指摘されている。（篠藤、2009）

#### 引用文献

小針憲一（2009）. 市民討議会の実施方法 篠藤明德・吉田純夫・小針憲一 自治を拓く市民討議会——広がる参画・事例と方法—— イマジン出版 pp.57-91.

篠原 一（2004）. 市民の政治学——討議デモクラシーとは何か—— 岩波新書

篠藤明德（2006）. まちづくりと新しい市民参加——ドイツのプラーヌンクスツェレの手法 イマジン出版

篠藤明德（2009）. 住民自治を拓く市民討議会 篠藤明德・吉田純夫・小針憲一 自治を拓く市民討議会——広がる参画・事例と方法—— イマジン出版 pp.28-56.

### 第2節 豊山町における町民討議会実施の目的

豊山町町民討議会実施の開催目的としては、

1. 協働のまちづくりに対する意識向上の機会とする
2. 町政に対して従来サイレントマジョリティーであった多様な町民の意見を反映する
3. 総合計画の見直しに向けて幅広い町民の意見を今後4年間にわたり蓄積していく

といったことが挙げられた。平成23年度に初めて10月30日と11月6日の2日間の日程として実施された。（詳細は「第1回協働のまちづくりを実現する町民討議会実施の記録」参照）

### 第3節 調査目的

町民討議会実施前後での町民の町政に対する意識・行動の変化を明らかにすることが目的である。また、町民討議会に対する期待や参加者による事後の評価を得ることも目的である。

## 第2章 調査の方法

参加者を招待するための事前アンケートは豊山町の住民基本台帳から無作為抽出した2000名に対して実施した。2011年9月8日に対象者に町民討議会議の案内、参加承諾ハガキ、アンケート返信用封筒とともに郵送し、約2週間で回答の返送を求めた。回答者は414名（回収率21%）であった。

事後アンケートは、実際に参加した42名に対して行なった。1日目終了時の事後アンケートは討議手続きなどについて簡単な評価を求めるものであり、2日目の終了時の事後アンケートは、招待アンケートとほぼ対応した内容のものであった。

### 第1節 事前アンケートの概要

事前アンケートの質問内容を以下に示す。質問項目や選択肢の詳細は付録1を参照。

#### (1) 属性

性別、年代、居住地域、居住年数、職業について尋ねた。

#### (2) 町政への関心

町から発信されている情報（「広報とよやま」など）への接触度について尋ねた。また、町の施策や事業に町民の意見が反映されていると思うか尋ねた。

#### (3) 町政に対する行動

パブリック・コメントなどを通じた町政への意見表明について、行なったことがあるものを尋ねた。また、選挙での投票、ボランティア活動などの行動状況について尋ねた。

#### (4) 町政への信頼や町への愛着、町政への町民の参加についての考え方

「今後とも町民に誠実に対応していくと期待している」など町政への信頼や「今後もすみ続けたい」など町への愛着について尋ねた。「これからのまちづくりには、住民の参画や協働が必要である」など町政への町民の参加についての考え方について尋ねた。

#### (5) 第4次総合計画への関心

行政が第4次総合計画を策定していることを知っているかどうか尋ねた。また、第4次総合計画での7つの重点戦略への関心の程度を尋ねた。

#### (6) 町民討議会議への期待

情報提供や参加者の代表性など参加手続きの公正さについての期待を尋ねた。また、自身の参加を想定した場合に自分自身が得られるであろう知識、自身や他の参加者とのつながり、町民や行政への影響力についての期待や参加に当たっての負担の予期についても尋ねた。

(7) 参加希望の有無

「参加したい」と「参加できない・したくない」の2択で尋ねた。

(8) 別の機会に町民討議会議に参加を招待された場合の参加条件

「1日だけなら」「1日あたりの開催時間が短ければ」など、今回は参加できなくても次の機会があれば、どのような条件が整っていれば参加しようと思うかを尋ねた。

## 第2節 参加者への事後アンケートの概要

1日目事後アンケートでは、以下について尋ねた。（質問項目や選択肢の詳細は付録2参照）

(1) 意見表明の十分さ

当日の3つの討議テーマについて、自分の意見やその理由を十分だすことができたと思うかを尋ねた。

(2) 会議での情報提供の理解度

総合計画と重点戦略の説明や参加者からの質問への回答について、理解度を尋ねた。また、「ほとんどできなかつた」「あまりできなかつた」という回答者には具体的にどんな点が理解できなかつたか記述を求めた。

2日目の事後アンケートでは以下について尋ねた。（質問項目や選択肢の詳細は付録3参照）

(1) 属性

性別、年代、居住地域、居住年数、職業について尋ねた。

(2) 参加動機、参加決定後の行動、町民討議会議の評価

町民討議会議に参加を決めた理由や、参加決定後から当日までの準備行動、町民討議会議の参加を通じた町政やまちづくりに関する「知識」の増加、町民討議会議での「情報提供」や「謝礼」、「開催時間」、「グループ討議の時間」、「開催曜日・時間帯」の評価を尋ねた。

また、招待アンケートと対応した内容として以下の2点について尋ねた。1つは情報提供や参加者の代表性など参加手続きの公正さについての評価である。もう1つは、自身が参加して得られた知識、自身や他の参加者とのつながり、町民や行政への影響力についての評価や参加に当たった負担の評価を尋ねた。

(3) 自由記述

町民討議会議に参加しての感想、良かった点、改善が必要な点について、自由記述を求めた。

### 第3章 アンケート結果の分析

#### 第1節 回答者の属性

##### 1) 性別

表1は性別の分布をまとめたものである。事前アンケートの回答者では女性が過半数を占めたが、参加者では男性の方が多いという結果となった。

表1 性別の分布

性別	参加者		事前アンケート回答者全体	
	人数	%	人数	%
女性	17	41.5	234	56.5
男性	24	58.5	179	43.2
無記入	0	0	1	0.2
合計	41	100.0	414	100

##### 2) 年代

表2は年代の分布をまとめたものである。60代と70代以上がともに約4分の1を占め、両者の合計が約半数という点は参加者も事前アンケートの回答者全体も同様であった。

表2 年代の分布

年代	参加者		事前アンケート回答者全体	
	人数	%	人数	%
10代	1	2.4	4	1.0
20代	2	4.9	28	6.8
30代	4	9.8	50	12.1
40代	6	14.6	64	15.5
50代	6	14.6	58	14.0
60代	10	24.4	106	25.6
70代以上	11	26.8	102	24.6
無記入	1	2.4	2	0.5
合計	41	100	414	100

##### 3) 居住地区

表3は事前アンケートと参加者(事後アンケートによる)の居住地域の分布をまとめたものである。27の地区に対して、参加者が得られなかった地区が5地区あった。参加者の

分布としては「中稲」地区が事前アンケートの回答者全体では 3.6%に対して、参加者内では 12.2%を占めており、やや多いようであるが、その他では特定の地区の参加者が多いということは特になく考えられる。

表 3 居住地域の分布

地区	参加者		事前アンケート回答者全体	
	人数	%	人数	%
西之町第1	1	2.4	18	4.3
西之町第2	0	0	11	2.7
名栗第1	1	2.4	10	2.4
名栗第2	0	0	18	4.3
大 門	1	2.4	17	4.1
青塚第1	1	2.4	22	5.3
青塚第2	2	4.9	18	4.3
青塚第3	0	0	24	5.8
伊勢山第1	2	4.9	16	3.9
伊勢山第2	1	2.4	13	3.1
伊勢山第3	1	2.4	12	2.9
諏 訪	3	7.3	17	4.1
新町南	3	7.3	10	2.4
新町北	1	2.4	6	1.4
中之町	1	2.4	13	3.1
新田第1	1	2.4	15	3.6
新田第2	2	4.9	11	2.7
新田第3	1	2.4	8	1.9
栄	2	4.9	22	5.3
下青山	2	4.9	16	3.9
中 稲	5	12.2	15	3.6
九十野	4	9.8	17	4.1
上 西	3	7.3	19	4.6
上 東	2	4.9	12	2.9
豊山団地1	0	0	8	1.9
豊山団地2	0	0	3	0.7
分譲住宅	1	2.4	17	4.1
無記入	0	0	26	6.3
合計	41	100	414	100



#### 4) 居住年数

表4は居住年数の分布を表にまとめたものである。参加者、事前アンケート回答者全体とも、豊山町に住んでから30年以上という人が過半数を占めていた。居住年数の平均では、招待状アンケートの回答者全体で33.9年(標準偏差21.13)に対して、事後アンケートによると参加者の平均は36.5年(標準偏差24.11)であり、ほぼ同様であるといえる。

表4 居住年数の分布

居住年数	参加者		事前アンケート回答者全体	
	人数	%	人数	%
1年未満	2	4.9	8	1.9
1年以上2年未満	0	0	6	1.4
2年以上5年未満	2	4.9	21	5.1
5年以上10年未満	5	12.2	22	5.3
10年以上15年未満	1	2.4	31	7.5
15年以上20年未満	0	0	27	6.5
20年以上30年未満	3	7.3	49	11.8
30年以上	27	65.9	244	58.9
無記入	1	2.4	6	1.4
合計	41	100	414	100

#### 5) 職業

表5は職業の分布をまとめたものである。表5によれば、事前アンケートの回答者全体では専業主婦・夫が3割で最も多いのに対して、参加者では1割未満と比較的少なかった。一方、事前アンケートの回答者全体では常時雇用は2割であったが、参加者では3割を占めていた。一般的な市民参加の機会ではフルタイムで勤務している人々の参加を得ることは難しいが、今回の豊山町の町民討議会では比較的多くの参加を得ることができたといえる。

表 5 職業の分布

職業	参加者		事前アンケート回答者全体	
	人数	%	人数	%
専業主婦・主夫	4	9.8	114	27.5
パート・アルバイト・内職	2	4.9	74	17.9
常時雇用(フルタイム)	12	29.3	85	20.5
自営業	7	17.1	47	11.4
学生	2	4.9	10	2.4
その他	13	31.7	72	17.4
無記入	1	2.4	12	2.9
合計	41	100	414	100

## 第 2 節 事前アンケートにおける町政への関心など

## (1) 町政への関心

## 1) 町から発信されている情報への接触度

広報とよやまは「いつも見る」という人が 6 割を占めており、「ときどき見る」をあわせると 8 割を超える人が見ていると回答していた。「とよやまみんなのチャンネル」は「ときどき見る」という人が 3 分の 1 を占めていたが、「あまり見ない」「全く見ない」をあわせた、どちらかという見ない人が過半数であった。「豊山町公式ホームページ」では、「全く見ない」という人が半数を超えた。各戸配布の「広報とよやま」は目を通す人が多いが、自分で情報を得ようとケーブルテレビや HP を見る人の割合は少なくなるといえる。

表 6 町から発信されている情報への接触度(%)

	広報とよやま	とよやまみんなのチャンネル	豊山町公式 HP
いつも見る	62.1	6.8	2.4
ときどき見る	20.5	34.3	17.4
あまり見ない	9.9	28.5	23.9
全く見ない	6.8	30.0	54.6
無記入	0.7	0.5	1.7

## 2) 町の施策や事業への町民の意見反映

町の施策や事業への町民の意見が反映されていると思うか尋ねた。最も多かったのは「わからない」33.8%であり、次に「どちらともいえない」30.2%であったことから、多くの町

民は町の施策や事情への町民の意見の反映の有無について反映されているとも、されていないとも実感が薄いと考えられる。「十分に反映されている」2.2%、「どちらかといえば反映されている」22.5%であり、どちらかという町民の意見が反映されていると考えている人は合わせて25%ほどとなり、「どちらかといえば反映されていない」7.2%、「全く反映されていない」1.9%をあわせたどちらかという町民が反映されていないと考えている人の合計9%ほどよりは多かった。

## (2) 町政に対する行動

### 1) パブリック・コメントなどを通じた町政への意見表明行動経験

パブリック・コメントなどを通じた町政への意見表明について、行なったことがあるものを尋ねた結果をまとめたのが表7である。「町議会議員に自分の意見を伝えた」が1割を超えた他は、それぞれの行動を実行したことがある人の割合は1割未満であった。

表7 意見表明行動の実行率(%)

行動内容	%
公募の委員として参加した(審議会など)	3.4
町の説明会や懇談会などに参加した	7.2
町長との対話や町民の声の制度を利用した	1.7
パブリック・コメントを利用した	0.2
ワークショップに参加した	2.7
町役場に直接出向いたり、電話をして、担当の職員等に自分の意見を伝えた	7.5
町議会議員に自分の意見を伝えた	14.5
その他	9.7

### 2) 投票行動

町長選挙や町議会議員選挙に行っているかどうかを尋ねた。「必ず行っている」が66.9%であった。「ほとんど行っている」は16.7%、「あまり行かない」9.9%、「全く行っていない」5.1%、無回答1.5%であった。豊山町の最近の選挙では2011年と2007年の町議会議員選挙の投票率が52.27%、62.36%であるため、事前アンケートの回答者の方がやや投票行動をとっている人が多かったといえる。

### 3) 地域活動やボランティア活動

地域活動やボランティア活動への参加経験をまとめたものを表8に示した。町内会や地域の活動に何らかの形で参加経験がある人は6割を超えたが、ボランティア団体やNPOの活動に何らかの形で参加経験がある人は3割ほどであった。

表 8 地域活動やボランティア活動の経験率(%)

	町内会や地域の活動 (行事やイベント)	ボランティア団体やNPOの活動 (行事やイベント)
全く参加したことがない	36.7	67.9
会員ではないが参加経験がある	16.7	11.1
会員として参加経験がある	24.4	10.1
役員や世話人として運営経験がある	15.5	5.1
無回答	6.8	5.8

(3) 町政への信頼や町への愛着、町政への町民の参加についての考え方

1) 町政への信頼や町への愛着

町政への信頼や町への愛着の意見分布をまとめたものを表 9 に示した。「町民のためによくやっている」と「町民の立場に立って施策を進めている」では「どちらともいえない」が 4 割で最も多かった。しかし、いずれの項目においても「全くそう思わない」「あまりそう思わない」という否定的な回答よりも、「ややそう思う」「非常にそう思う」という肯定的な回答の方が多く、基本的に豊山町への信頼や愛着については肯定的な評価が得られた。

表 9 町政への信頼や町への愛着についての意見の分布(%)

	全くそう 思わない	あまりそう 思わない	どちらとも いえない	やや そう思う	非常に そう思う	回答 者数
町民のためによくやっ ている	1.8	11.8	40.3	40.3	6.0	400
町民の立場に立って 施策を進めている	4.7	12.9	42.5	31.1	8.7	402
今後とも良い施策を していくと期待して いる	4.7	7.9	25.5	34.7	27.2	404
今後とも町民に誠実 に対応していくと期 待している	3.5	8.7	23.7	35.9	28.2	401
町を誇りに思う	4.2	5.9	33.6	33.1	23.2	405
今後とも住み続け たい	2.0	3.0	18.8	20.4	55.8	398

2) 町政への町民の参加についての考え方

町政には熱心な人や利害関係者、専門知識を持つ人々が参加すればよいか、一般の町民が参加するべきと考えているかを尋ねた結果を表 10 に示した。「地元の熱心な人がたちが

参加すればよい」には「ややそう思う」と「非常にそう思う」を合わせて半数近くの人がそのように考えていた。しかし、基本的には利害関係者などに任せておけばよいのではなく、「これからのまちづくりには、住民の参画や協働が必要である」には 8 割、「地域の課題には町民自身に取り組むことが必要である」にも 7 割の人が肯定的に回答したように町民自身の参加や取り組みが必要と考える人が多いことが分かった。

表 10 町政への町民の参加についての考え方についての意見の分布(%)

	全くそう思 わない	あまりそう 思わない	どちらとも いえない	やや そう思う	非常に そう思う	回答 者数
地元の熱心な人たちが参 加すればよい	8.0	14.6	32.7	31.4	13.3	398
町政やまちづくりに利害をも つ人・組織団体や代表者が 発言できる機会があれば、 一般の町民は参加しなくて もよい	43.4	27.0	23.2	4.0	2.3	396
専門的知識をもたない人が 町政やまちづくりに関わると よい決定ができない	27.6	19.7	30.6	13.4	8.7	402
まちづくりは町にまかせて おけばよい	40.1	30.3	23.1	4.0	2.5	399
これからのまちづくりには、 住民の参画や協働が必要 である	0.2	2.7	17.0	34.2	45.9	401
多くの町民が、まちづくり活 動、地域活動、ボランティア 活動などに参加する必要が ある	1.5	5.2	26.6	34.6	32.2	402
町のことは自分たち町民で 決めるべきである	4.2	6.0	31.5	32.8	25.6	403
町が新しいことを決める時 には自分も意見を言いたい	3.7	10.7	37.8	30.1	17.7	402
地域の課題には町民自身 が取り組むことが必要であ る	1.2	5.0	18.9	43.3	31.6	402

#### (4) 第4次総合計画への関心

##### 1) 認知度

行政が第4次総合計画を策定していることを知っているかどうか尋ねた。「計画内容を知っている」2.0%、「計画書を見たことはある」8.0%とわずかであった。「計画があることは知っている」は35.6%であった。「知らない」が54.5%と過半数を占めた。

今回の町民討議会開催とそれに先立つ本アンケートは、第4次総合計画を知らなかった人々に町が総合計画を策定していることや重点戦略の項目を知らせる効果も期待できる。

##### 2) 重点戦略への関心

第4次総合計画での7つの重点戦略への関心の程度を尋ねた結果を表11に示した。表11によれば、「タウンバスを中心とした公共交通の充実」が「非常に関心がある」という回答者の割合が最も高く、ついで「空港を活用した交流の促進」、「子育てしやすい環境づくり」、「航空宇宙産業をはじめとした産業の強化・育成」と続いていた。残りの3項目も「非常に関心がある」の割合はあまり高くないものの、「やや関心がある」は3~4割を占めた。「非常に関心がある」と「やや関心がある」を合わせた肯定的な回答はいずれの項目も多数を占めた。

表11 重点戦略への関心 (%)

	全く関心 がない	あまり関心 がない	どちらとも いえない	やや関心 がある	非常に関心 がある	回答 者数
地域の絆や交流のさらなる醸成	3.3	15.5	25.8	44.5	11.0	400
子育てしやすい環境づくり	4.7	6.7	16.1	38.6	33.9	404
空港を活用した交流の促進	2.2	6.7	16.3	36.0	38.8	405
航空宇宙産業をはじめとした産業の強化・育成	5.2	7.4	24.6	32.8	30.0	403
コンパクトにまとまった魅力ある定住環境の創造	3.5	6.2	25.2	39.4	25.7	404
タウンバスを中心とした公共交通の充実	2.2	5.4	12.6	30.9	48.8	404
庁内各部門の連携や広域連携の強化	3.5	5.8	30.8	34.8	25.1	399

#### (5) 参加希望の有無

「参加したい」と「参加できない・したくない」の2択で尋ねた。「参加したい」は67名(16.7%)、「参加できない・したくない」は335名(83.3%)であった(無回答は12

名)。

(6) 別の機会に町民討議会議に参加を招待された場合の参加条件

参加希望について「参加できない・したくない」という回答者に対して、「1日だけなら」「1日あたりの開催時間が短ければ」など、今回は参加できなくても次の機会があれば、どのような条件が整っていれば参加しようと思うかを尋ねた結果を表12にまとめた。表12によれば、比較的「非常にそう思う」が多かったのは、「仕事や家事が忙しくなければ参加したい」、「体調がよければ参加したい」、「興味あるテーマであれば参加したい」であった。逆に「全くそう思わない」が多かったのは、「謝金が今回より多ければ参加したい」であった。

表12 別の機会に町民討議会議に参加を招待された場合の参加条件の意見分布(%)

	全くそう 思わない	あまりそう 思わない	どちらとも いえない	やや そう思う	非常に そう思う	回答 者数
日程が合えば参加したい	12.7	20.7	29.4	25.4	11.8	323
1日だけなら参加したい	15.6	18.1	24.0	26.2	16.2	321
1日あたりの開催時間が短ければ参加したい	18.7	13.7	22.4	27.7	17.4	321
謝金が今回より多ければ参加したい	43.9	22.6	24.5	5.0	4.1	319
興味のあるテーマであれば参加したい	17.1	10.6	24.2	29.8	18.3	322
仕事や家事が忙しくなければ参加したい	16.3	10.6	26.9	24.7	21.6	320
体調が良ければ参加したい	16.6	12.2	32.6	19.1	19.4	319

第3節 事後アンケートにおける町民討議会議の手続き評価など

(1) 参加動機、参加決定後の行動、町民討議会議の評価(1日目・2日目事後アンケート)

1) 参加動機

町民討議会議に参加をした理由をいくつでも選択するよう求めた結果を表13に示した。

表 13 参加動機

理由	選択人数	%
討議テーマに興味があったから	20	48.8
豊山町のまちづくりや計画に自分の意見が活用されるかもしれないから	24	58.5
豊山町が主催に関わっているから	5	12.2
日程の都合が合ったから	7	17.1
会場が近かったから	3	7.3
謝礼があったから	6	14.6
参加対象者を無作為抽出で選んでいるから	10	24.4
その他	7	17.1

最も多かったのは「豊山町のまちづくりや計画に自分の意見が活用されるかもしれないから」であり、半数を超える人が理由に挙げていた。次に「討議テーマに興味があったから」も約半数の人が理由にあげていた。町民討議会議の手法の特徴である参加者の無作為抽出についても4分の1の人が参加を決めた理由に挙げていた。

## 2) 参加決定後から当日までの準備行動

町民討議会議に参加するまでに、豊山町のまちづくりについて個人的に調べたり、人と話し合ったりしたか尋ねた。これらの行動を実行していた人は41.5%であった。

## 3) 1日目の意見表明の評価

1日目の討議テーマに対して、自分の意見やその理由を十分出すことができたかどうかを尋ねた結果を表14にまとめた。「十分にできた」と「わりとできた」をあわせると、過半数の人ができたとしているものの、「あまりできなかった」という人も4割を超えており、討議手続きなどの改善が求められる。なお、「ほとんどできなかった」「あまりできなかった」という点について具体的に記述を求めた自由記述の回答一覧を付録4に示した。



表 14 1 日目の意見表明の評価(%)

	ほとんど できなかった	あまり できなかった	わりと できた	十分に できた	無記入
30 年後の豊山町で実現していて ほしい目標について	2.4	46.4	43.9	4.9	2.4
総合計画と重点戦略の説明に 対する質問作りについて	2.4	46.4	48.8	2.4	0
重点戦略の中で今後住民の多くが 関わるが必要な項目について	0	41.5	51.2	7.3	0

4) 1 日目の情報提供に対する理解度の評価

1 日目の情報提供に対して、理解ができたかどうかを尋ねた結果を表 15 にまとめた。

表 15 1 日目の情報提供に対する理解度の評価(%)

	ほとんど できなかった	あまり できなかった	わりと できた	十分に できた	無記入
総合計画と重点戦略の説明	0	36.6	58.5	4.9	0
質問に対する回答	0	31.7	63.4	0	4.9

「十分にできた」と「わりとできた」をあわせると、6 割の人が理解できたとしているものの、「あまりできなかった」という人も 3 割を超えており、改善が求められる。なお、「ほとんどできなかった」「あまりできなかった」という点について具体的に記述を求めた自由記述の回答一覧を付録 4 に示した。

5) 町民討議会議への参加を通じた町政やまちづくりに関する「知識」の増加

今回の町民討議会議の参加を通じて、町政やまちづくりに関する「知識」が増えたと思うかどうかについては、ややそう思うという人が 23 名(56.1%)で最も多く、次いで「非常にそう思う」が 16 名(39.0%)、どちらともいえないが 2 名(4.9%)であった。「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」という参加者はいなかった。

6) 町民討議会議での「情報提供」の適切さに対する評価(2 日間全体として)

2 日間全体として、町民討議会議での「情報提供」の適切さに対する評価を求めた結果を表 16 に示した。時間と難易度については「どちらともいえない」が最も多かったものの、時間、難易度、説明の仕方とも「非常にそう思う」と「ややそう思う」を合わせた肯定的な評価が多かった。

表 16 町民討議会議での「情報提供」の適切さに対する評価(2日間全体として)(%)

	無回答	全くそう 思わない	あまりそう 思わない	どちらとも いえない	やや そう思う	非常に そう思う
当日の情報提供の時間	2.4	0	12.2	36.6	31.7	17.1
当日の情報提供の難易度	0	2.4	9.8	41.5	34.1	12.2
当日の情報提供者の説明の 仕方	0	0	12.2	26.8	48.8	12.2

7) 町民討議会議での「謝礼」に対する評価

今年度の町民討議会議の参加者への謝礼は2日間の参加に対して商品券6000円分であった。これに対する評価をまとめたのが表17である。「妥当な金額」と評価した人が最も多く、6割ほどであった。「高すぎる」とした人よりは「安すぎる」とした人の方が多かった一方で、「不要」とした人もいた。

表 17 「謝礼」に対する評価

	人数	%
安すぎる	9	22.0
妥当な金額	24	58.5
高すぎる	2	4.9
不要	3	7.3
その他	3	7.3
合計	41	100.0

8) 町民討議会議での「開催期間」・「グループ討議の時間」に対する評価

町民討議会議での「開催期間(2日間)」と「グループ討議の時間」に対する評価を求めた結果を表18に示した。2日間の開催期間については「やや長い」がほぼ半数で最も多く、グループでの討議時間に対しては「適切である」が最も多かった。

表 18 「開催期間」・「グループ討議の時間」に対する評価

	開催期間に対する評価		討議時間に対する評価	
	人数	%	人数	%
とても長い	2	4.9	0	0
やや長い	21	51.2	14	34.1
適切である	15	36.6	22	53.7
やや短い	3	7.3	5	12.2
とても短い	0	0	0	0
合計	41	100	41	100

9) 町民討議会議での「開催曜日・時間帯」の希望

町民討議会議での「開催曜日・時間帯」の希望について尋ねた結果を表 19 にまとめた。表 19 によれば、今年度と同様に土曜日または日曜日を希望する人が 7 割を占めた。平日は昼間・夜間とも希望者は少なかった。

表 19 町民討議会議での「開催曜日・時間帯」の希望

	人数	%
土曜日または日曜日がよい	29	70.7
平日の昼間(10時～18時)がよい	2	4.9
平日の夜間(19時～21時)がよい	1	2.4
どちらでもよい	9	22.0
合計	41	100.0

(3) 自由記述

町民討議会議に参加しての感想、良かった点、改善が必要な点について、自由記述を求めた。一覧は付録 5 に示した。

#### 第4節 町民討議会議の事前・事後アンケート結果の比較

町民討議会議での情報提供や参加者の代表性など参加手続きの公正さについての事前の期待と実際の評価を尋ねた。また、自身が参加して得られた知識、自身や他の参加者とのつながり、町民や行政への影響力についての期待と実際の評価や参加に当たっての負担の予期と実際の評価を尋ねた。これらを事前アンケートにおける参加希望者(「参加したい」)、非希望者(「参加できない・したくない」)、参加者への事後アンケートの結果を比較した。

##### (1) 町民討議会議に対する参加手続きの公正さの評価

町民討議会議での情報提供や参加者の代表性など参加手続きの公正さについての事前の期待(事前アンケート)と実際の評価(参加者への事後アンケート)を尋ねた。

##### 1) 「町は十分な量の情報を公開する(公開した)」

図1によれば、参加希望者・非希望者とも町からの情報提供の期待について6割を越える人々が期待していたという点では大きな違いはなかった。参加者の事後評価では、否定的な「全くそう思わない」「あまりそう思わない」の割合は事前アンケートでの参加希望者・非希望者とあまり変わらなかったが、「どちらともいえない」の割合が多くなり、「とてもそう思う」という割合は減っていた。

このことから、事前の町民の期待ほどの情報が提供されなかったと考えられる。

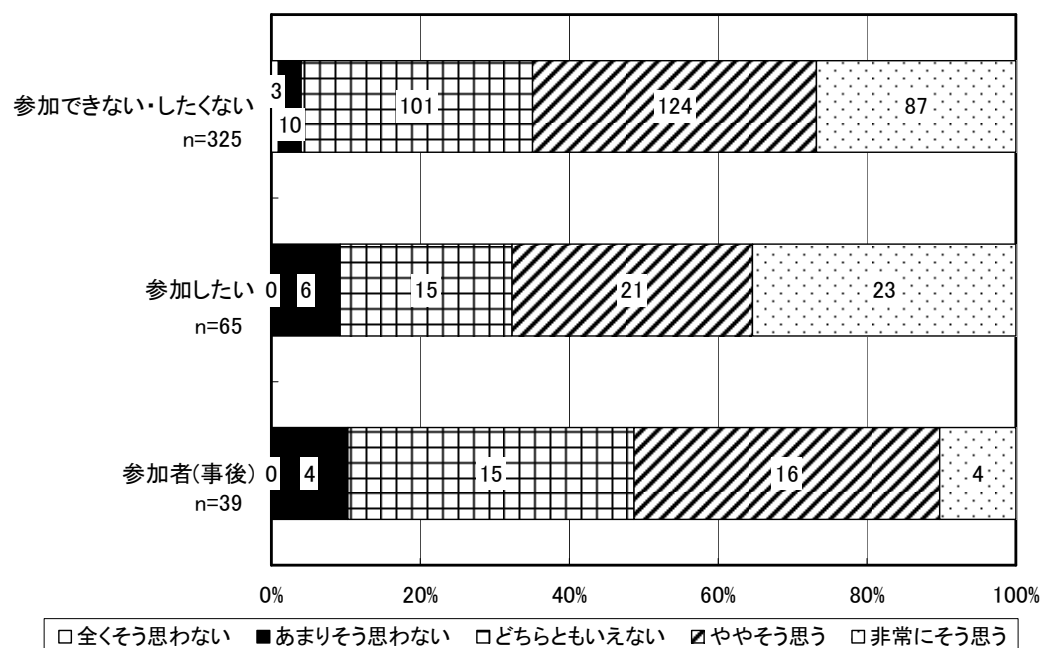


図1 「町は十分な量の情報を公開する(公開した)」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

2) 「総合計画について誰もが理解できるよう情報提供をする(した)」

図 2 によれば、事前アンケートでは、参加希望者・非希望者とも「非常にそう思う」「ややそう思う」をあわせると 70%を超える人々が肯定的な回答をしており、誰もが理解できる情報提供が行なわれることが期待されていた。参加者の事後評価では、「どちらともいえない」が 40%を超えて最も多くなり、「非常にそう思う」との回答は 1 割未満と少なくなった。

このことから、事前の町民の期待ほどには情報提供が十分にわかりやすく行われたとは言えなかったと考えられる。

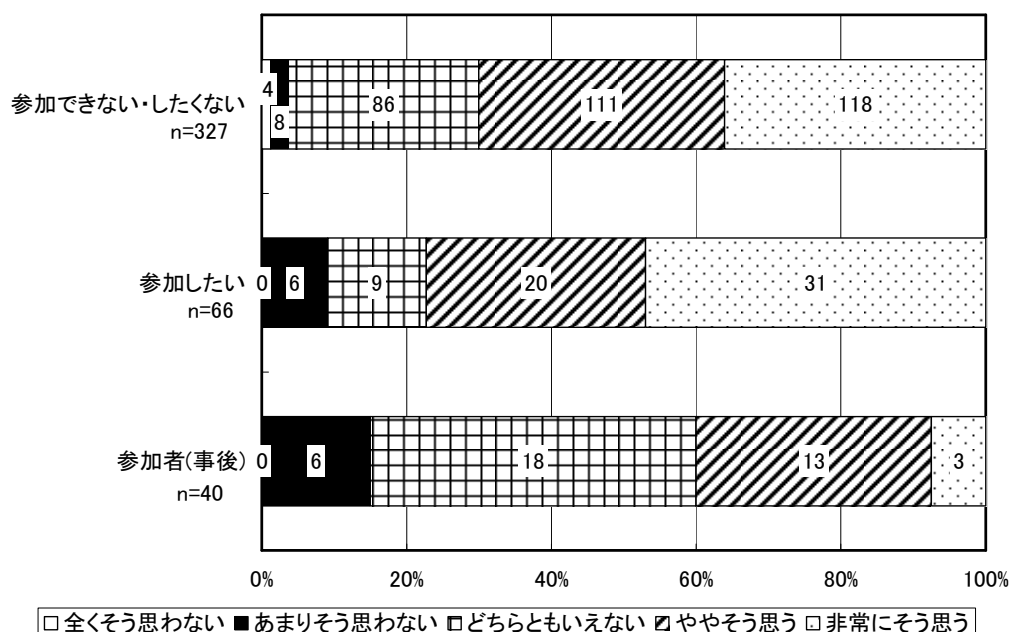


図 2 「総合計画について誰もが理解できるよう情報提供をする(した)」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

3) 「討議会議において町民の発言機会がある(あった)」

図 3 によれば、「非常にそう思う」「ややそう思う」をあわせた肯定的な回答は非希望者で半数、参加希望者では 6 割を超えており、多くの人々が町民の発言機会があると期待していた。参加者の事後評価では、肯定的な回答は 7 割を超えていた。

このことから、非希望者の期待以上に、だれもが発言できたと考えられる。

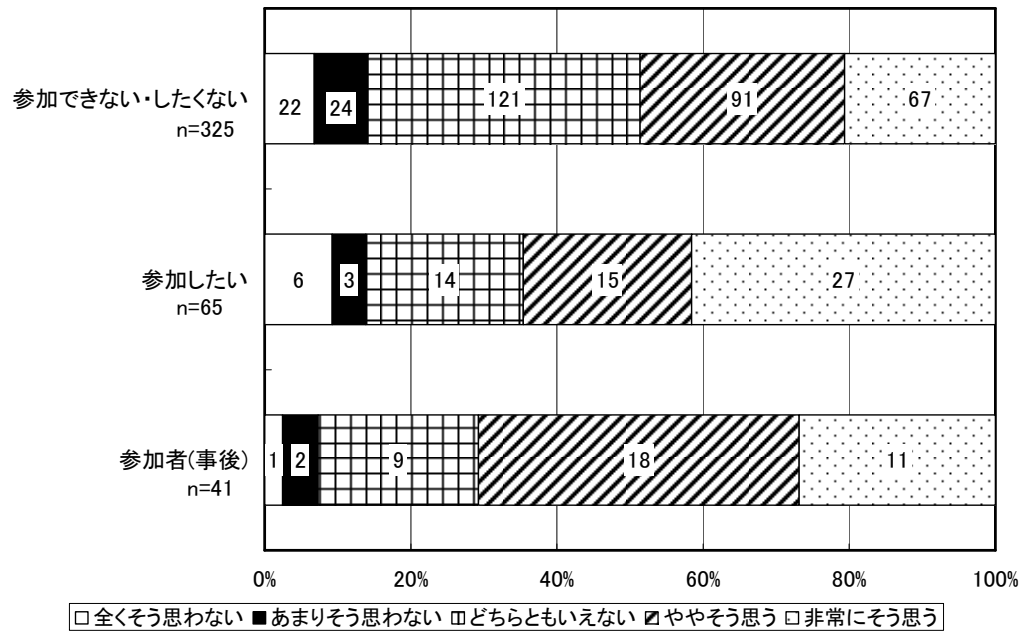


図3 「討議会議において町民の発言機会がある(あった)」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

4) 「討議会議において誰でも議論に参加できる(できた)」

図4によれば、「非常にそう思う」「ややそう思う」をあわせた肯定的な回答は非希望者では半数に満たなかったが、参加希望者では6割を超えていた。参加希望者の多くが町民の議論の機会があると期待していた。参加者の事後評価では、肯定的な回答は8割を超えていた。

このことから、非希望者の期待以上に、だれもが議論に参加できたと考えられる。

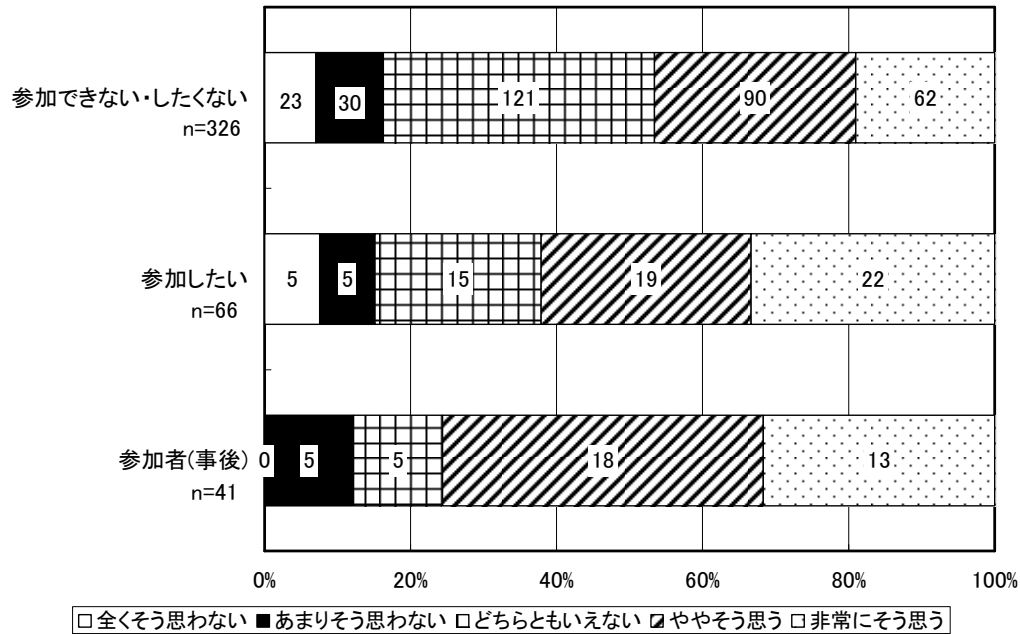


図4 「討議会議において誰でも議論に参加できる(できた)」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

5) 「町は総合計画実現のために討議会議の意見を反映させる」

図5によれば、「非常にそう思う」「ややそう思う」をあわせた肯定的な回答は非希望者では6割近く、参加希望者では8割近くに上った。参加希望者・非希望者の多くが町は総合計画実現のために町民討議会議の意見を反映させるがあると期待していた。しかし、参加者の事後評価では、肯定的な回答は非希望者と同程度であった。

このことから、総合計画実現のための町民討議会議の意見反映の期待は大きかったが、参加者の事後評価としては、非希望者の期待と同程度であった。

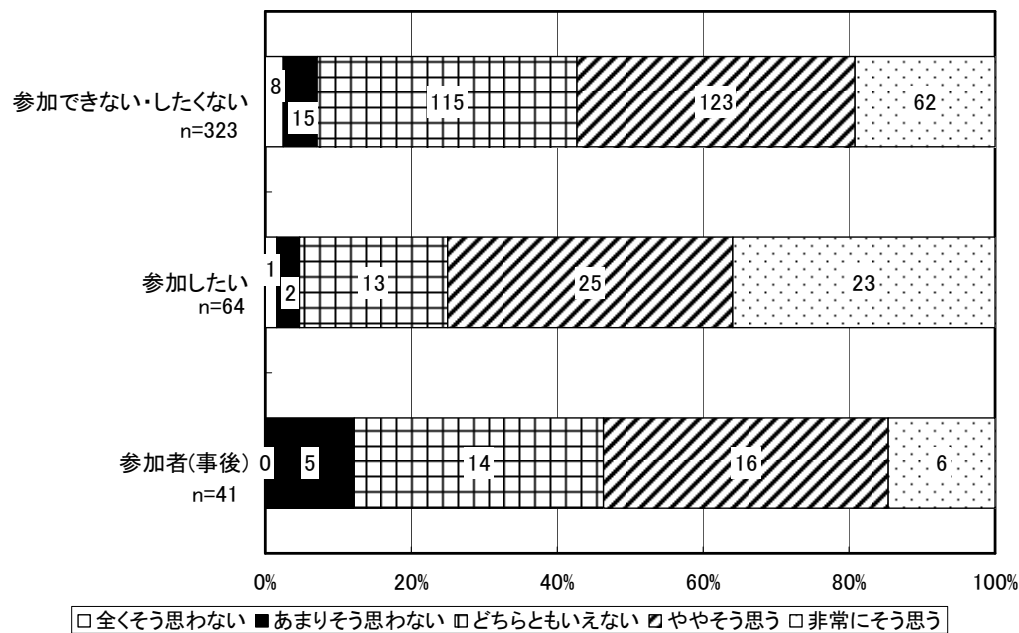


図5 「町は総合計画実現のために討議会議の意見を反映させる」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

6) 「町が総合計画を見直す場合に討議会議の意見を反映させる」

総合計画実現への町民討議会議の意見反映とほぼ同様の結果であった。図6によれば、「非常にそう思う」「ややそう思う」をあわせた肯定的な回答は非希望者では6割近く、参加希望者では8割近くに上った。参加希望者・非希望者の多くが町は総合計画実現のために町民討議会議の意見を反映させると期待していた。しかし、参加者の事後評価では、肯定的な回答は非希望者と同程度であった。

このことから、総合計画見直しの際の町民討議会議の意見反映の期待は大きかったが、参加者の事後評価としては、非希望者の期待と同程度であった。



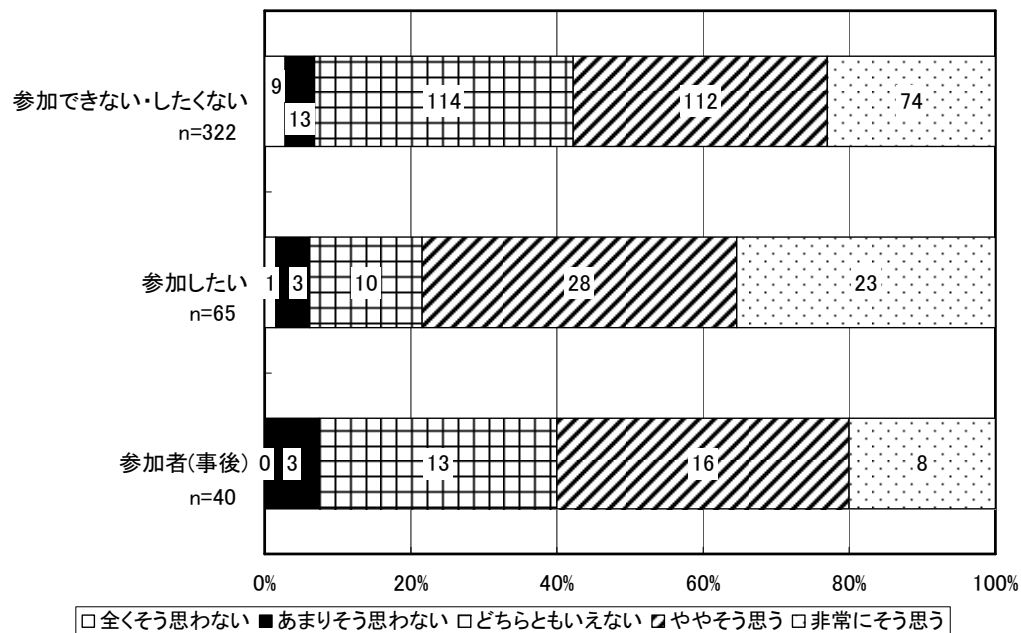


図6 「町が総合計画を見直す場合に討議会議の意見を反映させる」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

7) 「参加者は無作為で選ばれるので、町民の意見を代表する(していた)」

図7によれば、参加希望者・非希望者、参加後の参加者の評価とも「どちらともいえない」が最も多かった。「ややそう思う」・「非常にそう思う」をあわせた肯定的な回答は非希望者で4割、希望者と参加者の事後評価では半数ほどであった。

無作為抽出の参加者が町民の意見を代表するかどうかは、参加後であってもどちらとも言えないという人が多くを占めたが、否定的に考える人はわずかであることがわかる。

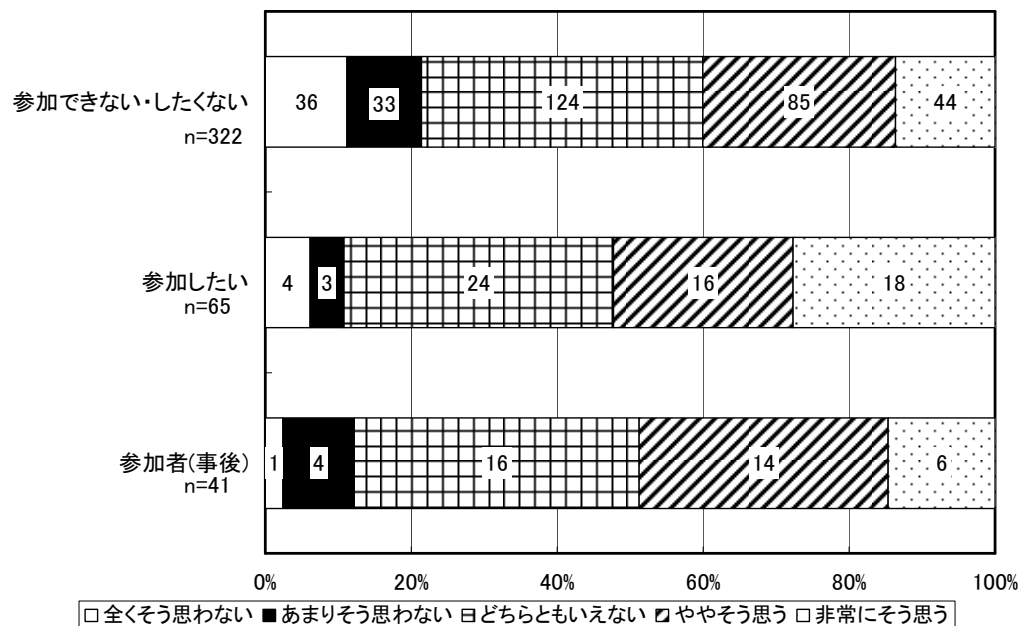


図 7 「参加者は無作為で選ばれるので、町民の意見を代表する(していた)」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

8) 「多数だけではなく、少数の意見が反映される(された)」

図 8 によれば、参加希望者・非希望者、参加後の参加者の評価とも「どちらともいえない」が最も多かった。参加後の参加者の評価は「どちらともいえない」と「ややそう思う」が同じ割合であった。「ややそう思う」・「非常にそう思う」をあわせた肯定的な回答は非希望者では 4 割に満たなかったが、希望者では 4 割を超え、参加者の事後評価では半数ほどであった。

少数意見も反映されるかどうかは、参加後であってもどちらとも言えないという人が多くを占めたが、否定的に考える人はわずかであることがわかる。

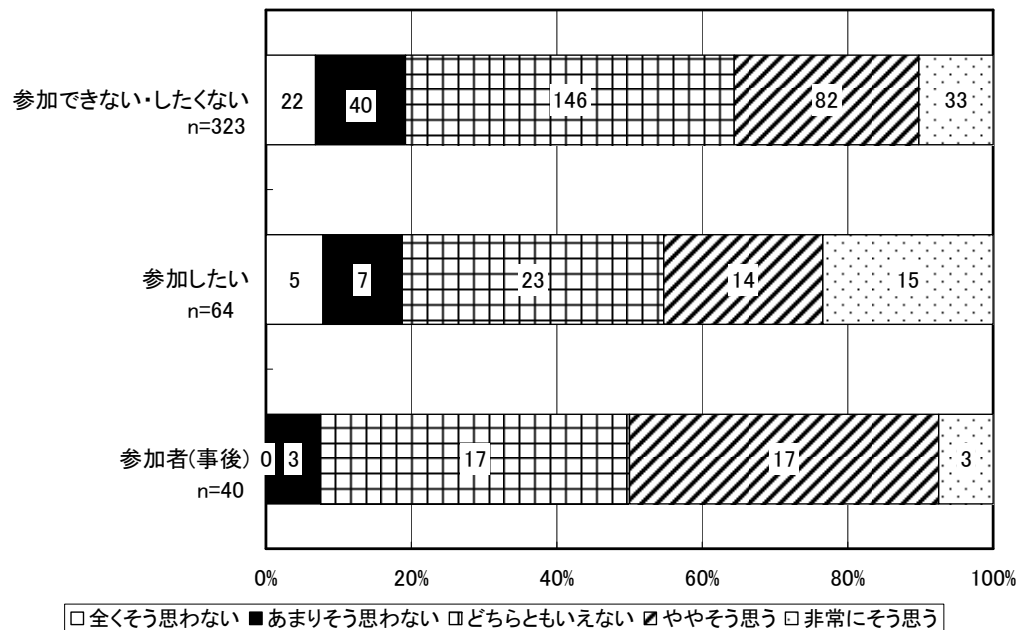


図8 「多数的意見だけでなく、少数の意見が反映される(された)」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

9) 「議論に時間がかかり無駄だ」

図9によれば、「非常にそう思う」「ややそう思う」と、町民討議会議は時間がかかり無駄だという人の割合は参加希望者と非希望者の間には差はなかったが、非希望者では「どちらともいえない」は約半数を占めていた。参加希望者の評価と参加者の事後評価では「全くそう思わない」「あまりそう思わない」と無駄とは思わないという人が6割を占めており、実際の参加者では、無駄と思う人は1割に満たなかった。

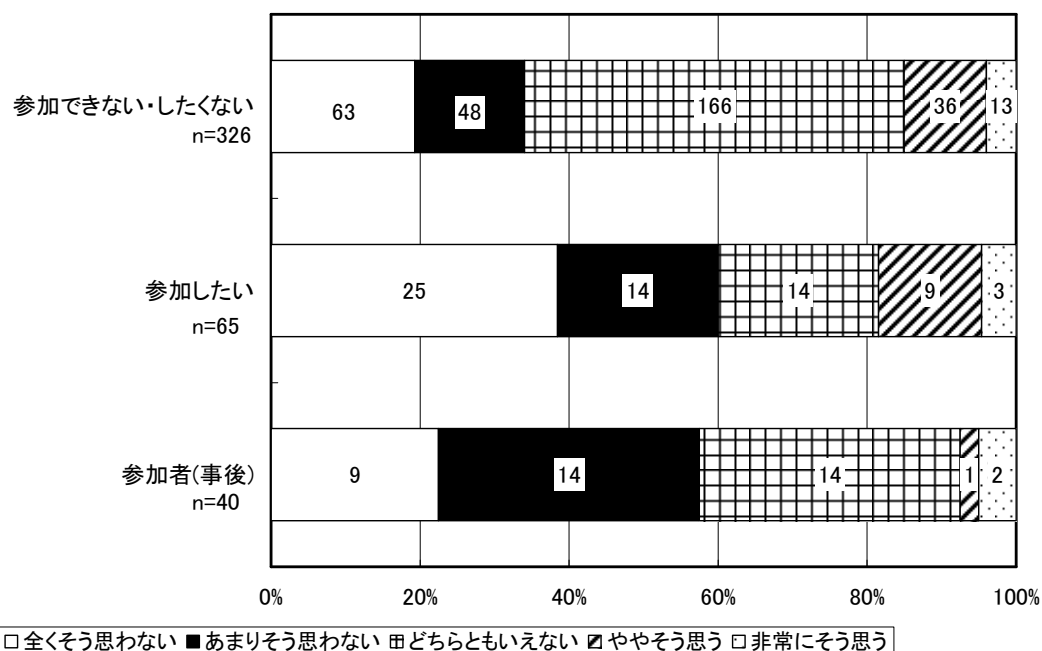


図9 「議論に時間がかかり無駄だ」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

#### 10) 「予算がかかり無駄だ」

「議論に時間が係り無駄だ」と似た結果となった。図10によれば、非希望者では「どちらともいえない」が最も多く、約半数を占めたが、参加希望者では3割に満たず、参加者の事後評価では4分の1となった。「全くそう思わない」「あまりそう思わない」という予算の点で無駄とは思わない人の割合は非希望者では3割ほどであったが、参加希望者では6割近く、参加者の事後評価では7割近くとなった。

予算が無駄だと思わない人は非希望者より参加希望者や事後の参加者の評価で多かったといえる。

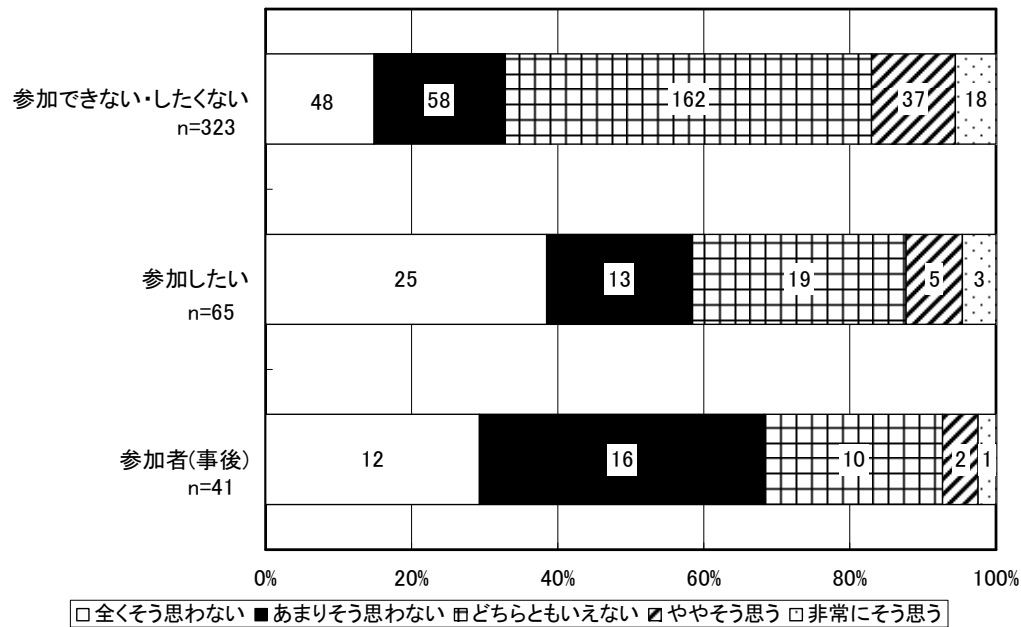


図 10 「予算がかかり無駄だ」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

11) 「討議会開催は全体としてよいものだ」

図 11 によれば、参加希望者、非希望者、参加者の事後評価とも、「全くそう思わない」「あまりそう思わない」という否定的な回答はわずかであった。非希望者では「どちらともいえない」が4割ほどで最も多かったが、参加希望者と参加者の事後評価では「非常にそう思う」が4割ほどで最も多かった。

非希望者であっても肯定的な回答が半数を超えており、基本的には討議会開催の開催は参加希望の有無を問わず、全体として良いと評価されたといえる。

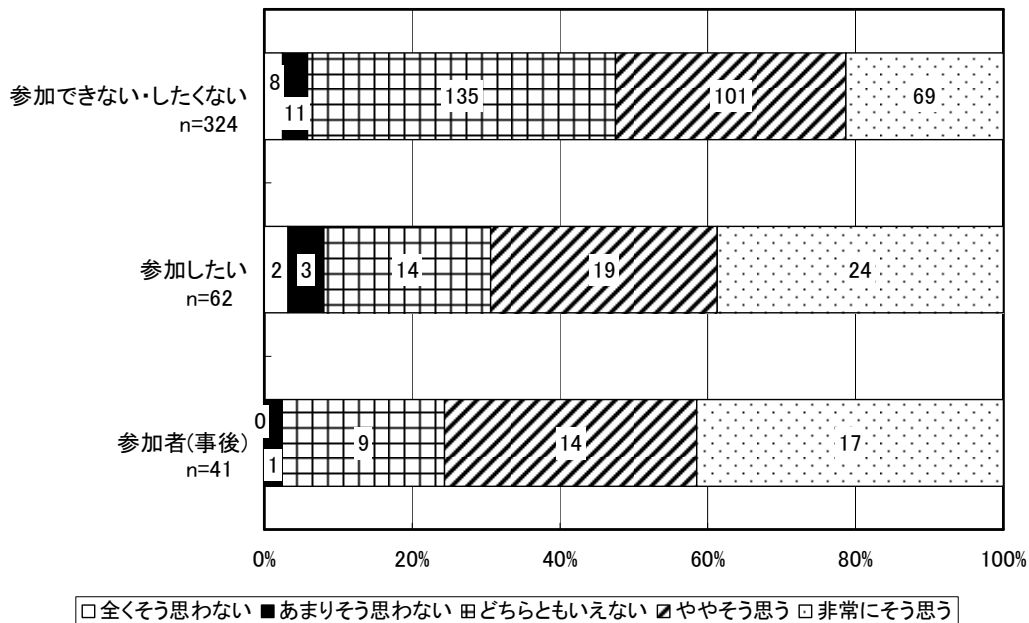


図 11 「討議会開催は全体としてよいものだ」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

12) 「今後、第4次総合計画見直しにむけて討議会議では良い提案ができる(できた)」

図 12 によれば、事前アンケートでは参加希望者・非希望者とも「どちらともいえない」が最も多かったが、事後の参加者の評価では「ややそう思う」が最も多かった。「非常にそう思う」「ややそう思う」をあわせた肯定的な回答は非希望者で4割に対して、参加希望者で過半数となり、参加者の事後評価では6割を超えた。

第4次総合計画見直しにむけて町民討議会議では良い提案ができると期待され、事後の評価でもそのように評価されたといえる。

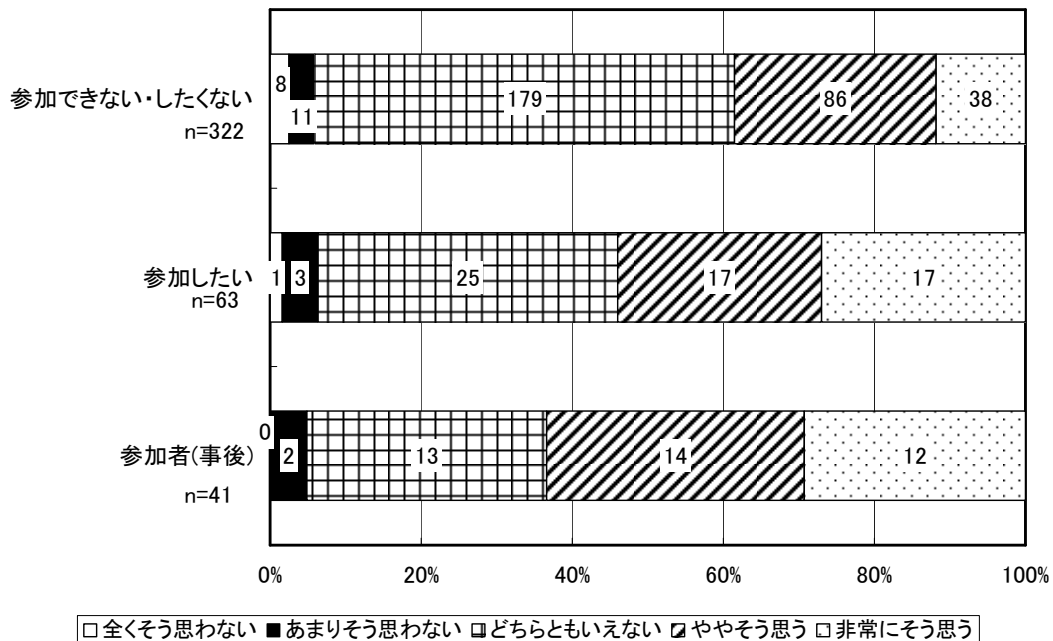


図 12 「今後、第4次総合計画見直しにむけて討議会議では良い提案ができる(できた)」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

(2) 町民討議会議参加により個人的に得られることの評価

1) 「討議会議の参加で自分の視野が広がる(できた)」

図 13 によれば、参加希望者、非希望者、参加者の事後評価とも「ややそう思う」が最も多かった。参加希望者と実際の参加者では「全くそう思わない」という人はおらず、「あまりそう思わない」という回答の割合は非希望者より少なく、「非常にそう思う」という回答の割合は非希望者よりも多かった。

町民討議会議の参加希望者は非希望者よりも参加による視野の広がりを期待し、参加者は実際に視野が広がったと評価したといえる。

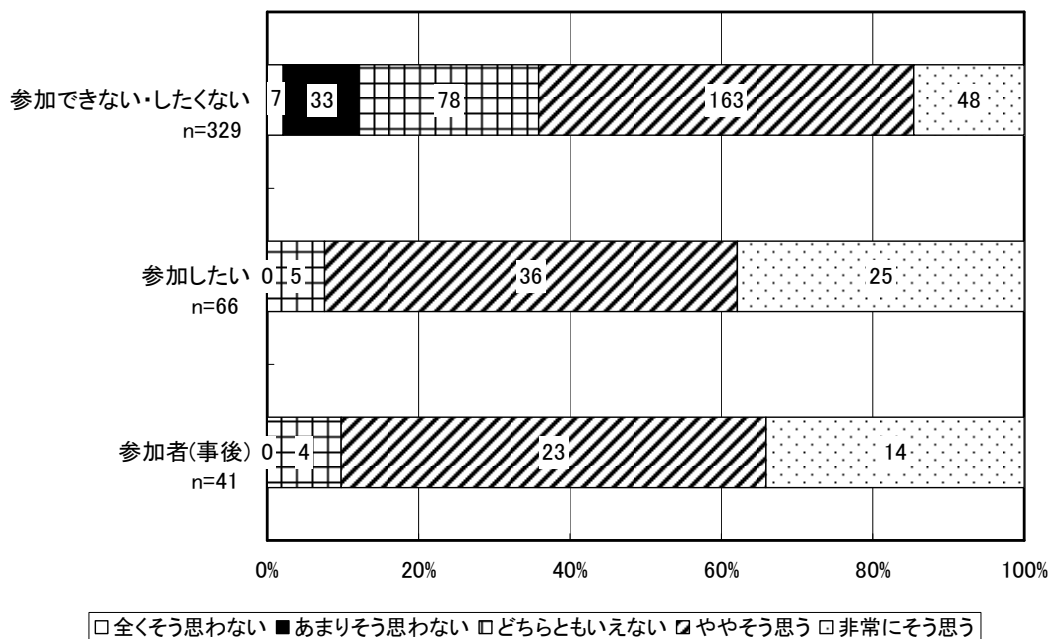


図 13 「討議会議の参加で自分の視野を広げることができる(できた)」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

2) 「討議会議に参加して新しい知識と情報を得られる(得られた)」

図 14 によれば、参加希望者、非希望者、事後の参加者の評価とも「ややそう思う」が最も多かった。参加希望者と実際の参加者では「全くとそう思わない」という人はおらず、「あまりとそう思わない」という回答の割合は非希望者より少なく、「非常にとそう思う」という回答の割合は非希望者よりも多かった。

町民討議会議の参加希望者は非希望者よりも参加によって新しい知識や情報が得られることを期待し、参加者は実際に知識や情報を得られたと評価したといえる



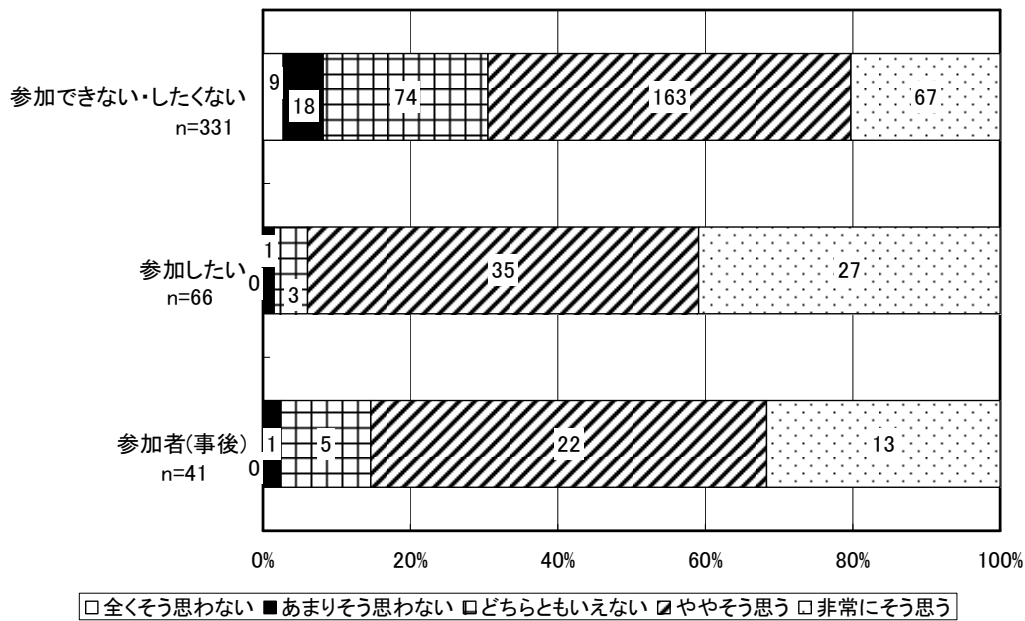


図 14 「討議会議に参加して新しい知識と情報を得られる(得られた)」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

### 3) 「討議会議で自分と異なる関心や見解をもつ人と知り合える(知り合えた)」

図 15 によれば、参加希望者、非希望者、参加者の事後評価とも「ややそう思う」が最も多かった。参加希望者では「全くそう思わない」という人はおらず、実際の参加者では「全くそう思わない」「あまりそう思わない」ともいなかった。「非常にそう思う」という回答の割合は非希望者よりも参加希望者や実際の参加者の方が多かった。

町民討議会議の参加希望者は非希望者よりも参加によって自分と異なる関心や見解をもつ人と知り合えることを期待し、参加者は実際に知り合えたと評価したといえる。

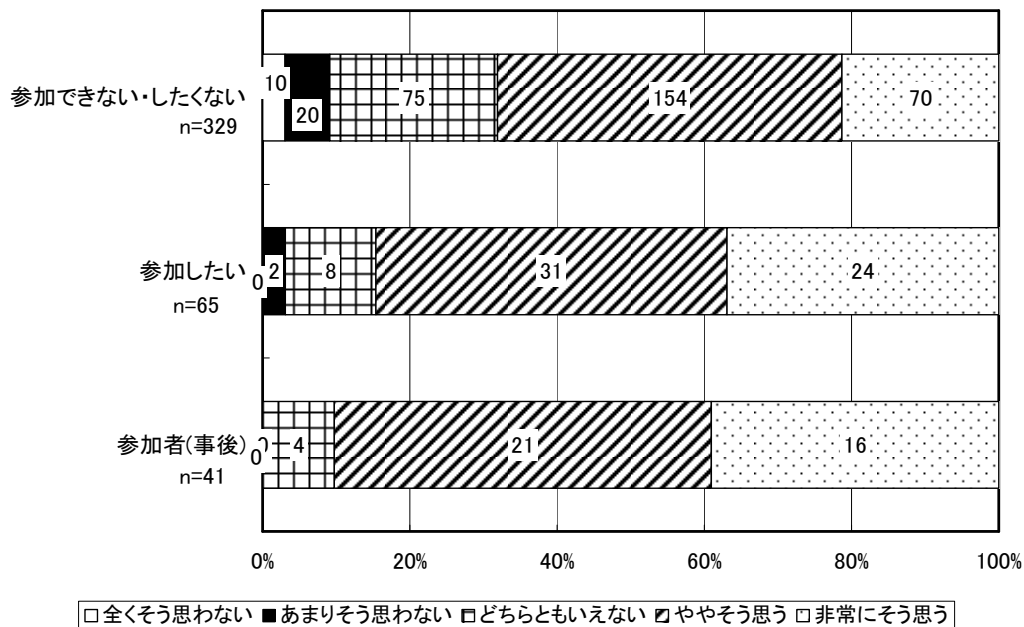


図 15 「討議会議で自分と異なる関心や見解をもつ人と知り合える(知り合えた)」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

#### 4) 「討議会議を通して他の参加者と信頼関係を築くことができる(できた)」

図 16 によれば、参加希望者、非希望者では、「どちらともいえない」が最も多く、事後の参加者の評価では「ややそう思う」が最も多かった。参加希望者と実際の参加者では非希望者よりも「非常にそう思う」という割合が多かった。また、事前アンケートに比べて事後の参加者の評価では「どちらともいえない」が少なくなり、「ややそう思う」が多くなった。

町民討議会議の参加希望者は非希望者よりも参加によって他の参加者と信頼関係を築くことができると期待し、参加者は実際に他の参加者と信頼関係を築くことができたと評価したといえる。

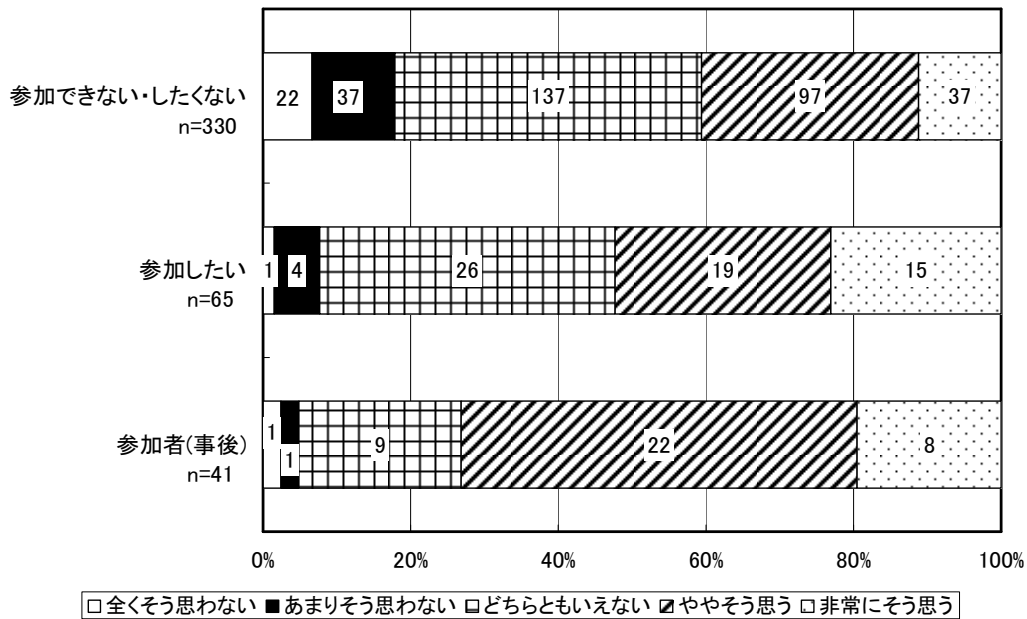


図 16 「討議会議を通して他の参加者と信頼関係を築くことができる(できた)」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

5) 「地域の問題について今後の町民の協力が活発になる」

図 17 によれば、非希望者では「どちらともいえない」が最も多いものの、「ややそう思う」も4割ほどでほぼ同じ割合であった。参加希望者と参加者の事後評価では「ややそう思う」が4割を超えて最も多く、「全くそう思わない」という回答は見られなかった。

参加希望の有無に関わらず、地域の問題について今後の町民の協力が活発になるとの期待を持っている人が多かったといえる。

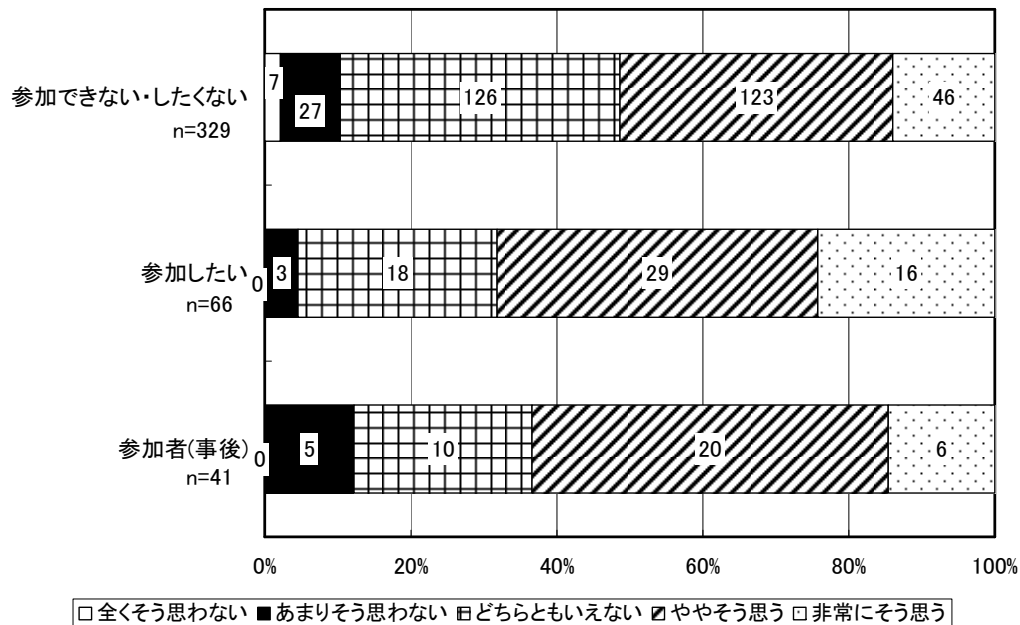


図 17 「地域の問題について今後の町民の協力が活発になる」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

6) 「総合計画について町民の関心を高めることができる」

図 18 によれば、参加希望者、非希望者、参加者の事後評価とも「ややそう思う」が最も多く、いずれも 4 割を超えていた。「どちらともいえない」は非希望者では 3 割近く見られたものの、参加希望者と事後の参加者の評価では 2 割未満であった。「非常にそう思う」は非希望者では 2 割未満であったが、参加希望者と事後の参加者評価では 2 割を超えていた。

参加希望の有無に関わらず、総合計画について町民の関心を高めることができるとの期待を持っている人が多かったといえる。

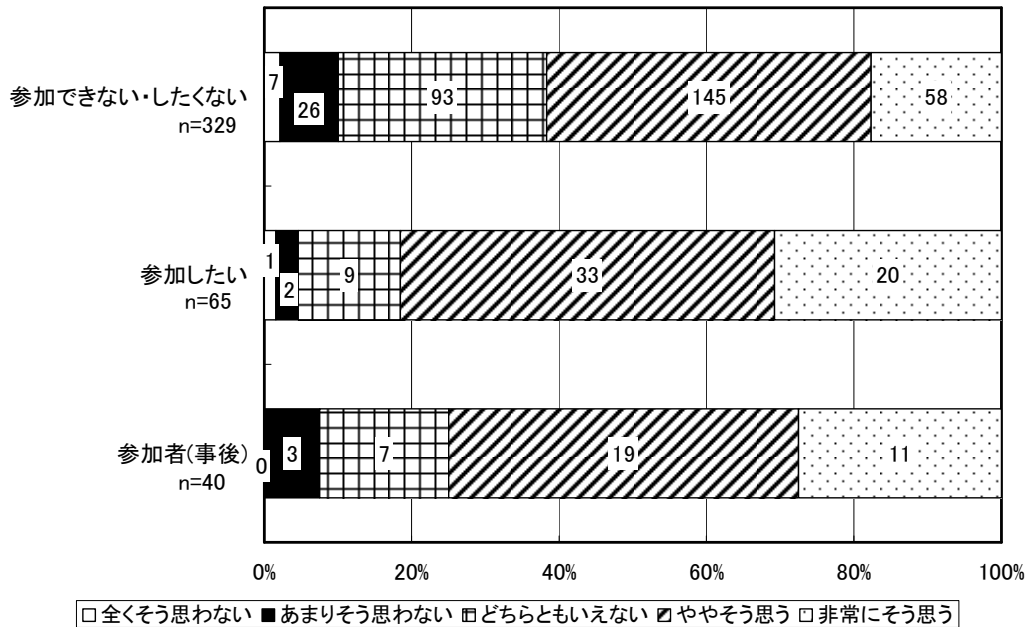


図 18 「総合計画について町民の関心を高めることができる」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

7) 「総合計画について町の取り組みも進む」

図 19 によれば、参加希望者、非希望者、事後の参加者評価とも「どちらともいえない」が最も多いものの、非希望者と参加者の事後評価では「ややそう思う」も4割ほどでほぼ同じ割合であった。事後の参加者評価では「全くそう思わない」という回答は見られなかった。

参加希望の有無に関わらず、半数前後の人々が総合計画について町の取り組みも進むと期待していたといえる。

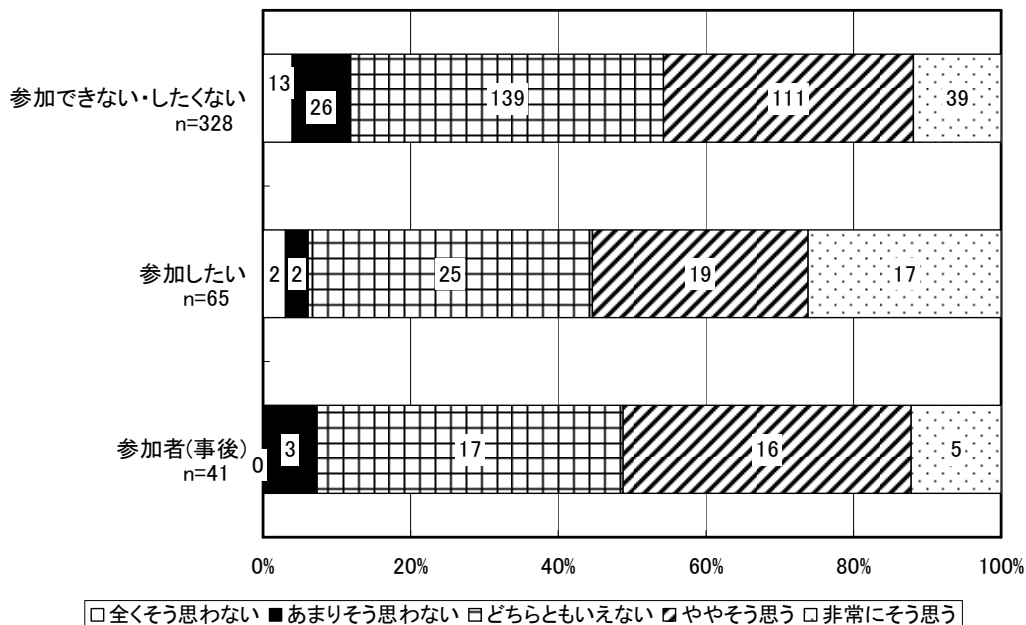


図 19 「総合計画について町の取り組みも進む」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

#### 8) 「町の政策に対して町民の影響が大きくなる」

図 20 によれば、参加希望者、非希望者、参加者の事後評価とも「どちらともいえない」が最も多いものの、事後の参加者評価では「ややそう思う」も4割ほどでほぼ同じ割合であった。参加希望者・非希望者とも「ややそう思う」が2番目に多かった。事後の参加者評価では「全くそう思わない」という回答は見られなかった。

参加希望の有無に関わらず、半数前後の人々が総合計画について町の政策に対する町民の影響が大きくなると期待していたといえる。

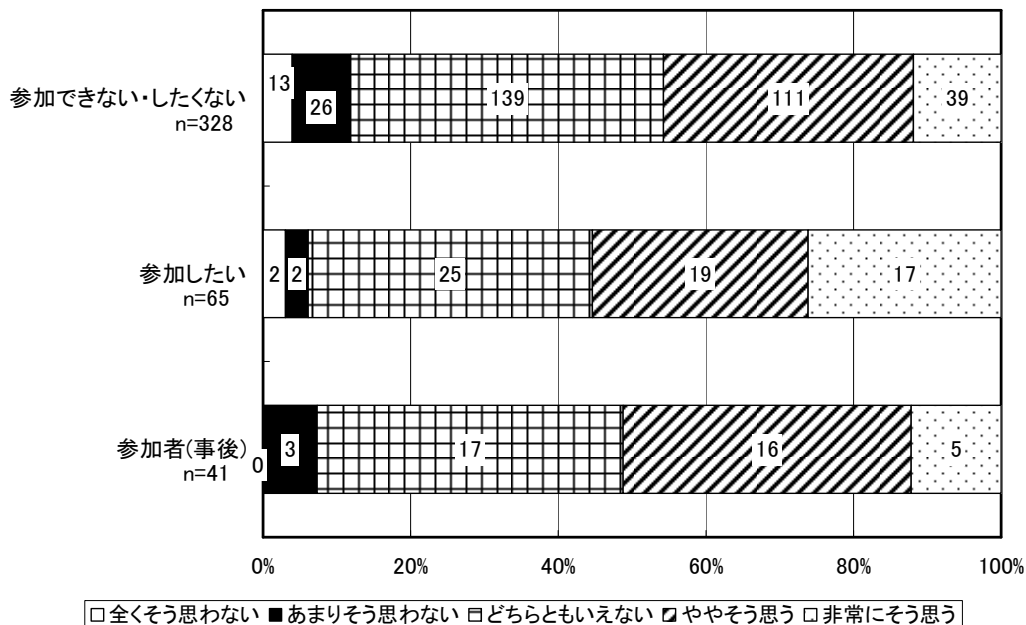


図 20 「町の政策に対して町民の影響が大きくなる」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

#### 9) 「討議会議の参加への時間の負担が大きい」

図 21 によれば、参加希望者と参加者の事後評価では「どちらともいえない」が3割ほどで最も多く、次に「ややそう思う」であった。一方、非希望者では「非常にそう思う」が3割ほどで最も多かった。「非常にそう思う」「ややそう思う」をあわせた参加の時間的負担が大きいと考える人は参加希望者や事後の参加者評価では4割未満に対して、非希望者では6割近かった。

時間の負担が大きいと評価することが、非希望者が参加を見送る理由の1つと示唆された。

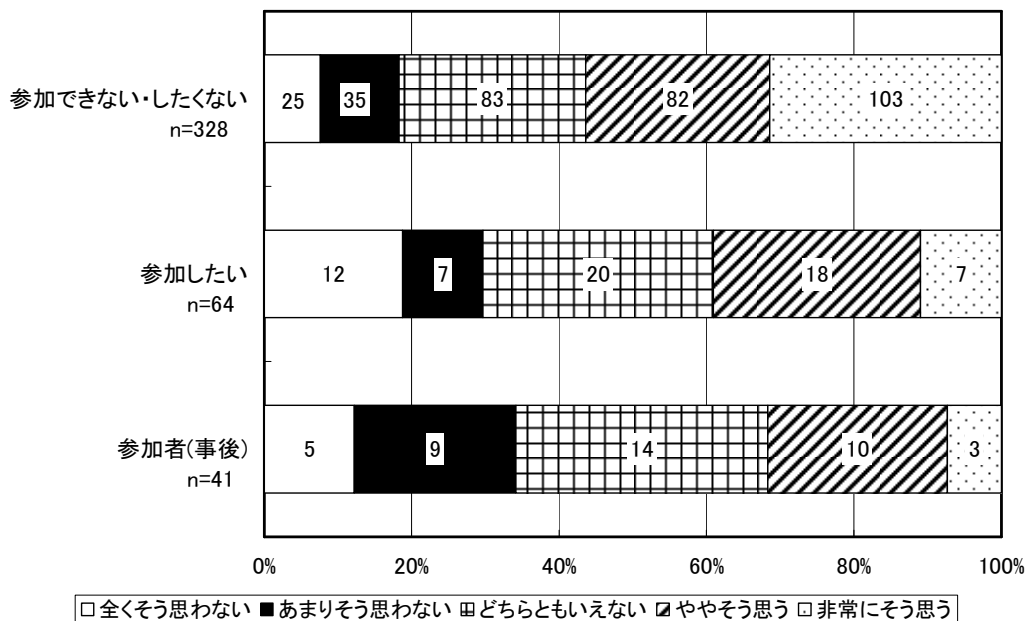


図 21 「討議会議の参加への時間の負担が大きい」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

10) 「町民討議会議に参加するのは他の参加者に気を使うのがわずらわしい」

図 22 によれば、参加希望者、非希望者では「どちらともいえない」が 4 割近くで最も多かったのに対して、事後の参加者評価では「あまりそう思わない」が 4 割ほどで最も多かった。「全くそう思わない」「あまりそう思わない」という回答をあわせると非希望者では 4 分の 1 ほどであったが、参加希望者では 4 割を超え、事後の参加者評価では 4 分の 3 ほどとなった。

「非常にそう思う」「ややそう思う」は非希望者であってもあわせて 4 割未満であり、他の参加者に気を使うことのわずらわしさは非希望者が参加を見送る大きな理由ではなかったことが示唆された。



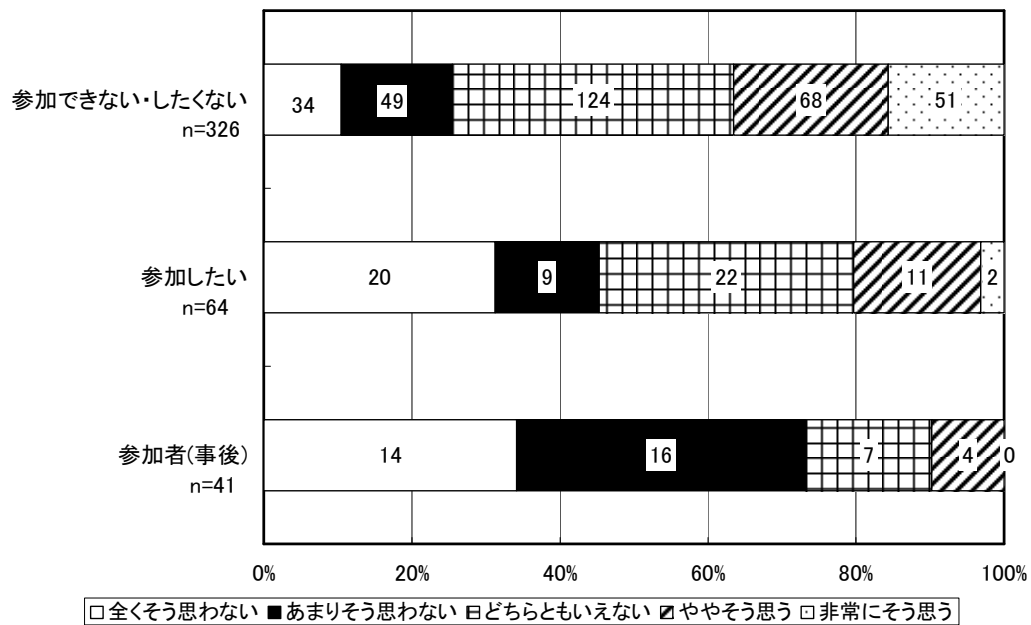


図 22 「町民討議会議に参加するのは他の参加者に気を使うのがわずらわしい」の事前アンケートにおける参加希望者・非希望者と参加者の事後アンケートの結果の比較

#### 第4章 まとめ

以上、事前・事後アンケートの結果から今回の町民討議会議の参加者の特徴、町民の町政や町民討議会議への期待、開催後の評価としては、以下のようなことが言える。

- 1 町民討議会議に参加した人々は比較的長く豊山町に居住している人が多かった。また、専業主婦・夫など比較的時間の余裕があるとされる人ばかりではなく、常時雇用されている人の参加も多かった。
- 2 町政への信頼や町への愛着は比較的高かった。
- 3 熱心な人々や利害関係者などに任せるのではなく、一般の町民が街づくりなどに参加するべきと考えている人が多かった。
- 4 参加者の参加動機としては、まちづくりや計画への意見の活用への期待や討議テーマへの興味が多かった。町民討議会議の手法の特徴である参加者の無作為抽出についても4分の1の人が参加を決めた理由に挙げていた。
- 5 参加の謝礼については、妥当と判断した人が多かった。
- 6 町民討議会議における情報提供は、わかりやすさなどの点で今後も改善が必要とされた。
- 7 発言や議論の機会については、参加者は肯定的に評価していた。
- 8 町民討議会議の意見を町が総合計画に反映させるかどうかについては、会議前後とも半数程度の人が期待しているにとどまった。
- 9 町民討議会議に時間や予算がかかることについては、無駄ではないと評価されていた。
- 10 町民討議会議の実施は全体として、高く評価されていた。
- 11 町民討議会議を通し、視野が広がり、いろいろな人の意見が聞けて、新しい知識を得ることができる事前にも期待され、実際の参加者にも評価されている。
- 12 総合計画については、町民討議会議を実施することで町民の関心が高まると事前にも期待され、実際の参加者にも評価されている。

総合的に今回の町民討議会議の実施は、町民の町政への関心を高め、参加手続きの点でも参加者が個人的に知識や人と人とのつながり、町政への参加の有効感などの点でも参加者から非常に高い評価を得ることができたと言える。

## 豊山町の今後のまちづくりと町民討議会議にむけてのアンケートのお願い

町民討議会議に先立ち、まちづくりや住民参加のあり方について、ご意見をおうかがいします。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

町民討議会議にご参加いただけない方も、ご協力をお願いします。

なお、本アンケートは、愛知学泉大学現代マネジメント学部伊藤雅春研究室および南山大学総合政策学部前田洋枝研究室と協力して実施します。

### ご記入にあたって

1. お送りした宛名の方がご自身で記入してください。氏名・住所の記入は不要です。
2. 鉛筆またはボールペンなどではっきりとご記入ください。
3. 調査結果は、調査の目的以外には一切使用しません。個人情報に関する質問も一部ありますが、ご回答内容はまとめて統計的に分析し、調査報告が終わり次第、廃棄いたします。ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることはございません。

### ご記入が終わりましたら

- 同封の返信用封筒にこのアンケートを入れて、**9月23日(金)まで**にご投函ください（切手は不要です）。
- 町民討議会議へ参加希望の場合は、同封のはがきにご記入の上、**9月23日(金)まで**にご投函ください（切手は不要です）。

ご不明な点がございましたら、下記のお問合せ先まで、お気軽にお問合せください。

#### ■町民討議会議に関するお問合せ先

豊山町総務部総務課企画財政・情報係

〒480-0292

豊山町大字豊場字新栄260番地

電話：(0568)28-0913（直通）

FAX：(0568)29-1177

メール：kikaku@town.toyoyama.lg.jp

#### ■アンケートの内容に関するお問合せ先

南山大学総合政策学部総合政策学科  
前田洋枝研究室

〒489-0863

瀬戸市せいれい町27

電話：(0561)89-2068（研究室  
直通）

メール：mhiro@ps.nanzan-u.ac.jp

それぞれの質問について、あてはまるものに○をつけるか、( )の中にご記入ください。

<あなた自身についておたずねします>

問1 現在お住まいの地区を教えてください。

- 1. 西之町第1
- 2. 西之町第2
- 3. 名栗第1
- 4. 名栗第2
- 5. 大門
- 6. 青塚第1
- 7. 青塚第2
- 8. 青塚第3
- 9. 伊勢山第1
- 10. 伊勢山第2
- 11. 伊勢山第3
- 12. 諏訪
- 13. 新町南
- 14. 新町北
- 15. 中之町
- 16. 新田第1
- 17. 新田第2
- 18. 新田第3
- 19. 栄
- 20. 下青山
- 21. 中稲
- 22. 九十野
- 23. 上西
- 24. 上東
- 25. 豊山団地1
- 26. 豊山団地2
- 27. 分譲住宅

問2 豊山町にいつからお住まいですか。 約 ( )年前から

問3 性別を教えてください。

- 1. 女性
- 2. 男性

問4 年齢を教えてください。

- 1. 10代
- 2. 20代
- 3. 30代
- 4. 40代
- 5. 50代
- 6. 60代
- 7. 70代以上

問5 お仕事を教えてください。

- 1. 専業主婦・主夫
- 2. パート・アルバイト・内職
- 3. 常時雇用（フルタイム）
- 4. 自営業
- 5. 学生
- 6. その他（具体的に： ）

<町政へのご関心やこれまでの行動についておたずねします>

問6 町がみなさんにむけて発信している情報について、どのくらい見えていますか。

(1) 広報とよやま

- 1. いつも見る
- 2. ときどき見る
- 3. あまり見ない
- 4. 全く見ない

(2) とよやまみんなのチャンネル（ケーブルテレビ）

- 1. いつも見る
- 2. ときどき見る
- 3. あまり見ない
- 4. 全く見ない

(3) 豊山町公式ホームページ

- 1. いつも見る
- 2. ときどき見る
- 3. あまり見ない
- 4. 全く見ない

問7 町の施策や事業に町民の考えが反映されていると思いますか。

- 1. 十分に反映されている
- 2. どちらかといえば反映されている
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかといえば反映されていない
- 5. 全く反映されていない
- 6. わからない

問8 町政に対して意見を述べたり、町の事業や会議に参加したりしたことはありますか  
(あてはまるもの全てに○をつけてください)。

1. 公募の委員として参加した(審議会など)
2. 町の説明会や懇談会などに参加した
3. 町長との対話や町民の声の制度を利用した
4. パブリック・コメントを利用した
5. ワークショップに参加した
6. 町役場に直接出向いたり、電話をして、担当の職員等に自分の意見を伝えた
7. 町議会議員に自分の意見を伝えた
8. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問9 町長選挙や町議会議員選挙へ、毎回行きますか。

1. 必ず行っている
2. ほとんど行っている
3. あまり行かない
3. 全く行っていない

問10 町内会やボランティア団体などで活動をしていますか。

(1) 町内会や地域の活動(行事やイベント)

1. 全く参加したことがない
2. 会員ではないが参加経験がある
3. 会員として参加経験がある
4. 役員や世話人として運営経験がある

(2) ボランティア団体やNPOの活動(行事やイベント)

1. 全く参加したことがない
2. 会員ではないが参加経験がある
3. 会員として参加経験がある
4. 役員や世話人として運営経験がある

問11 町行政に対するお考えをお聞かせください。

(1) 町民のためによくやっている

全く            あまり            どちらとも            やや            非常に  
そう思わない    そう思わない    いえない    そう思う    そう思う  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

(2) 町民の立場に立って施策を進めている

そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

(3) 今後とも良い施策をしていくと期待している

そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

(4) 今後とも町民に誠実に対応していくと期待している

そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

(5) 町を誇りに思う

そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

(6) 今後とも住み続けたい

そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

問12 町政やまちづくりへのかかわり方についておたずねします。

(1) 地元の熱心な人たちが参加すればよい

全く           あまり           どちらとも           やや           非常に  
そう思わない   そう思わない   いえない           そう思う       そう思う

そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

(2) 町政やまちづくりに利害をもつ人・組織団体や代表者が発言できる機会があれば、一般の町民は参加しなくてもよい

そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

(3) 専門的知識をもたない人が町政やまちづくりに関わるとよい決定ができない

そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

(4) まちづくりは町にまかせておけばよい

そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

(5) これからのまちづくりには、住民の参画や協働が必要である

そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

(6) 多くの町民が、まちづくり活動、地域活動、ボランティア活動などに参加する必要がある

そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

(7) 町のことは自分たち町民で決めるべきである

そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

(8) 町が新しいことを決める時には自分も意見を言いたい

そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

(9) 地域の課題には町民自身に取り組むことが必要である

そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

<今後のまちづくりや町民討議会について、ご意見をうかがいます>

問 13 町は「総合計画」（まちづくりの指針となる長期計画）を策定しています。「総合計画」をご存知ですか。

1. 計画内容を知っている                      2. 計画書を見たことはある  
3. 計画があることは知っている              4. 知らない

問 14 現在の「第4次総合計画」では、まちづくりの課題として7つの重点戦略を挙げています。どのくらい関心がありますか。

(1) 地域の絆や交流のさらなる醸成

全く              あまり              どちらとも              やや              非常に  
関心がない      関心がない      いえない      関心がある      関心がある  
関心がない 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5 関心がある

(2) 子育てしやすい環境づくり

関心がない 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5 関心がある

(3) 空港を活用した交流の促進

関心がない 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5 関心がある

(4) 航空宇宙産業をはじめとした産業の強化・育成

関心がない 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5 関心がある

(5) コンパクトにまとまった魅力ある定住環境の創造

関心がない 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5 関心がある

(6) タウンバスを中心とした公共交通の充実

関心がない 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5 関心がある

(7) 庁内各部門の連携や広域連携の強化

関心がない 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5 関心がある

問 15 町民討議会議に対するご意見についてお聞かせください。

(1) 町は総合計画について町民討議会議での討議に十分な量の情報公開をする

全く              あまり              どちらとも              やや              非常に  
そう思わない      そう思わない      いえない              そう思う              そう思う  
そう思わない 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5 そう思う

(2) 町は町民討議会議で総合計画について誰もが理解できるよう情報提供をする

そう思わない 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5 そう思う

- (3) 町民討議会議において、町民は誰でも発言できる機会がある  
 そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (4) 町民討議会議において、町民は誰でも議論に参加できる  
 そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (5) 今後、町は総合計画実現のための事業に町民討議会議の意見を反映させる  
 そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (6) 今後、町が総合計画を見直すときには町民討議会議の意見を反映させる  
 そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (7) 町民討議会議の参加者は無作為に選ばれるので、町民全体の意見を代表する  
 そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (8) 町民討議会議では多数だけでなく、少数の意見も反映される  
 そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (9) 町民討議会議は議論に時間がかかり無駄だ  
 そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (10) 町民討議会議は多くの予算がかかり無駄だ  
 そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (11) 町民討議会議の開催は全体としてよいものだ  
 そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (12) 今後の第4次総合計画見直しに向けて町民討議会議はよい提案ができる  
 そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

問 16 町民討議会議にあなた自身が参加するとしたら、以下のことにどのくらい期待しますか。

※ご自身の町民討議会議の参加予定に関わらず、ご回答願います。

- (1) 町民討議会議に参加すれば、自分の視野を広げることができる  
 全く           あまり           どちらとも           やや           非常に  
 そう思わない   そう思わない   いえない       そう思う       そう思う  
 そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (2) 町民討議会議に参加すれば多くの新しい知識と情報を得られる  
 そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う



- (3) 町民討議会議で、自分とは異なる関心や見解を持つ人と知り合うことができる  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (4) 町民討議会議を通して、他の参加者と信頼関係を築くことができる  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (5) 町民討議会議によって地域の問題についての今後の町民の協力が活発になる  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (6) 町民討議会議によって総合計画についての町民の関心を高めることができる  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (7) 町民討議会議によって総合計画についての町の取り組みも進む  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (8) 町民討議会議によって町の政策に対して町民の影響が大きくなる  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (9) 町民討議会議へ参加するのは、時間の負担が大きい  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (10) 町民討議会議へ参加するのは、他の参加者に気をつかうのがわずらわしい  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

問 17 町民討議会議にご参加いただけますか。

1. 参加したい                      2. 参加できない・したくない

※「1. 参加したい」に○をつけた方は、同封の参加承諾はがきも記入して必ずご返送ください。アンケートの返送のみでは参加申し込みになりませんので、ご注意ください。

問 18 今後の町政への期待や、町政・まちづくりへの町民の参加についてのご意見をご自由にお書きください。

《以下は、問 17 で今年の町民討議会議に「2. 参加できない・したくない」と回答された方におたずねします。》

問 19 今後、別の機会に町民討議会議に招待された場合、どのような条件ならば参加しようと思いませんか。

(1) 日程が合えば参加したい

全く           あまり           どちらとも           やや           非常に  
そう思わない   そう思わない   いえない           そう思う       そう思う  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

(2) 1日だけなら参加したい

そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

(3) 1日あたりの開催時間が短ければ参加したい

そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

(4) 謝金が今回より多ければ参加したい

そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

(5) 興味のあるテーマであれば参加したい

そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

(6) 仕事や家事が忙しくなければ参加したい

そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

(7) 体調が良ければ参加したい

そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

ご協力いただき、本当にありがとうございました。

同封の返信用封筒で9月23日（金）までにご投函ください。

# 協働のまちづくりを実現する町民討議会議

## 第1日目振り返りアンケート

本日はお疲れ様でした。今日の会議を振り返っていただき、下記の質問にご回答ください。

1. 本日の3つの討議テーマについて、あなたはご自分の意見やその理由を十分だすことができましたと思いますか？（あてはまる数字に○をつけてください）

(1) 30年後の豊山町で実現してほしい目標について（第1ラウンド）

1. ほとんどできなかった    2. あまりできなかった    3. わりとできた    4. 十分にできた

(2) 総合計画と重点戦略の説明に対する質問作りについて（第2ラウンド）

1. ほとんどできなかった    2. あまりできなかった    3. わりとできた    4. 十分にできた

(3) 重点戦略の中で今後住民の多くが関わる必要がある項目について（第3ラウンド）

1. ほとんどできなかった    2. あまりできなかった    3. わりとできた    4. 十分にできた

2. 本日の会議での情報提供についておたずねします。説明を理解できましたか？

(1) 総合計画と重点戦略の説明

1. ほとんどできなかった    2. あまりできなかった    3. わりとできた    4. 十分にできた

(2) 質問に対する回答の説明

1. ほとんどできなかった    2. あまりできなかった    3. わりとできた    4. 十分にできた

- (3) (1) または (2) で、1. ほとんどできなかった または、2. あまりできなかった、とご回答された方は、理解できなかった点を具体的にお聞かせください

3. 配布資料や進行について、お気づきの点や感想をお聞かせください。

ありがとうございました。次回(11月6日)もよろしくお願ひします。

### 1 日目事後アンケート自由記述一覧

(3) (1) または (2) で 1. ほとんどできなかった または、  
2. あまりできなかった、とご回答された方は、理解できなかった  
点を具体的にお聞かせください。

- ・ 初めてのことで今後のことを考えて見たい。
- ・ それこそ、具体的なイメージがわきにくかった。
- ・ 町よりの回答が出来ていなかった。
- ・ 年代によって考えが違う。考え方が変わって来る。
- ・ この様な討議は初めてで、出来なかったより参考になり今後が楽しみです。
- ・ 内容が大きすぎて短時間では理解できなかった。
- ・ 町民討議会になれなかった。
- ・ 本日は「大まかな理想論」という感じがしました。次回はより具体的な  
お話が聞けることを楽しみにしています。(特に財政面)
- ・ 具体的な総合計画、明確なビジョンを指して欲しかった。
- ・ 理解できない訳ではないが、出来たとは思わない。
- ・ 今回は回答できない。
- ・ 重点戦略案が具体性に欠けているので関わりにくかった。
- ・ 内容が多すぎて深まりが今一つ。(仕方がない事だと思いますが。)
- ・ 具体的なことは来週ということなので。
- ・ 初めての討議会で理解が出来なかった。
- ・ 理解しがたく申し訳有りません。
- ・ 全ての回答に具体性がなくボケてしまっていた感があります。  
(仕方がないと思いますが。)
- ・ 内容が難しい部分と内容が抽象的な部分が多いと感じた。
- ・ 「慰霊」について戦死者、歴史上の古塚についての理解が出来ませんでした。

### 3. 配布資料や進行について、お気づきの点や感想をお聞かせください

- ・ 3回のメンバー変更は良かった。発言者の偏りがなくなり良い。
- ・ 行政の方々良く勉強されていて、まずは十分と思います。
- ・ 進行の妨げとなる発言は早期に修正すること。  
資料は討議中も利用しましたので、もう少し開き易い様に工夫されて
- ・ いるといいなと思いました。
- ・ もっとグループディスカッションの時間があれば良い。
- ・ 今日の討議会の内容を前もって下さったら家族会議に掛け、話し

出来易い。

- 同じことばかり。
- 資料の文字活字をもう少し拡大して頂くと有り難いと思います。
- 質問が漠然としすぎていて発想しにくかった。
- 若い人の意見が多く聞けて大変良かった。  
進行等、時間配分もきちんとしていただいたので、予定通り進んだと
- 思います。

## 町民討議会議を終えてのアンケート

2日間にわたり、町民討議会議にご参加いただき、誠にありがとうございました。  
今後の町民討議会議の運営方法や研究の参考とさせていただくため、大変お手数をおかけいたしますが、アンケートにご協力をお願いいたします。

それぞれの質問について、あてはまる番号に○をつけるか、( )にご記入ください。

<あなた自身についておたずねします>

問1 現在お住まいの地区を教えてください。

- |           |          |          |          |           |
|-----------|----------|----------|----------|-----------|
| 1. 西之町第1  | 2. 西之町第2 | 3. 名栗第1  | 4. 名栗第2  | 5. 大門     |
| 6. 青塚第1   | 7. 青塚第2  | 8. 青塚第3  | 9. 伊勢山第1 | 10. 伊勢山第2 |
| 11. 伊勢山第3 | 12. 諏訪   | 13. 新町南  | 14. 新町北  | 15. 中之町   |
| 16. 新田第1  | 17. 新田第2 | 18. 新田第3 | 19. 栄    | 20. 下青山   |
| 21. 中稲    | 22. 九十野  | 23. 上西   | 24. 上東   | 25. 豊山団地1 |
| 26. 豊山団地2 | 27. 分譲住宅 |          |          |           |

問2 豊山町にいつからお住まいですか。 約 ( )年前から

問3 性別を教えてください。 1. 女性 2. 男性

問4 年齢を教えてください。

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上

問5 お仕事を教えてください。

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 専業主婦・主夫     | 2. パート・アルバイト・内職 |
| 3. 常時雇用（フルタイム） | 4. 自営業          |
| 5. 学生          | 6. その他（具体的に： )  |

<討議全体を通じてお聞きします>

問6 今回、町民討議会議に参加を決めた理由をお聞かせください。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |   |
|---|
| <p>1. 討議テーマに興味があったから<br/>2. 豊山町のまちづくりや計画に自分の意見が活用されるかもしれないから<br/>3. 豊山町が主催に関わっているから<br/>4. 日程の都合が合ったから<br/>5. 会場が近かったから<br/>6. 謝礼があったから<br/>7. 参加対象者を無作為抽出で選んでいるから<br/>8. その他 ( )</p> |
|---|

問7 町民討議会に参加するまでに、豊山町のまちづくりについて個人的に調べたり、人と話し合ったりしましたか。次の中から1つ選び○をつけてください。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 8 今回の町民討議会議の参加を通じて、町政やまちづくりに関する「知識」が増えた  
と思いますか。次の中から1つ選び○をつけてください。

- |              |               |              |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 非常に思う     | 2. ややそう思う     | 3. とちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. まったくそう思わない |              |

問 9 今回の町民討議会議の「情報提供」は適切だったと思いますか。あてはまる番号を  
それぞれ1つだけ選び○をつけてください。

(1) 当日の情報提供の時間

- |        |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全く     | あまり    | どちらとも  | やや     | 非常に    |        |
| そう思わない | そう思わない | いえない   | そう思う   | そう思う   |        |
| そう思わない | 1----- | 2----- | 3----- | 4----- | 5 そう思う |

(2) 当日の情報提供の難易度

- |        |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| そう思わない | 1----- | 2----- | 3----- | 4----- | 5 そう思う |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|

(3) 当日の情報提供者の説明の仕方

- |        |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| そう思わない | 1----- | 2----- | 3----- | 4----- | 5 そう思う |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|

<運営方法などについてお聞きします>

問 10 今回の町民討議会議の「謝礼 (商品券6, 000円分)」についてどのように思っ  
ましたか。次の中から1つ選び○をつけてください。

- |          |          |         |       |
|----------|----------|---------|-------|
| 1. 安すぎる  | 2. 妥当な金額 | 3. 高すぎる | 4. 不要 |
| 5. その他 ( |          |         | )     |

問 11 今回の町民討議会議の「開催時間 (2日間)」についてどのように思いましたか。  
次の中から1つ選び○をつけてください。

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. とても長い | 2. やや長い  | 3. 適切である |
| 4. やや短い  | 5. とても短い |          |

問 12 今回の町民討議会議の「グループ討議の時間<1テーマ当たり 60分>」について  
どのように思いましたか。次の中から1つ選び○をつけてください。

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. とても長い | 2. やや長い  | 3. 適切である |
| 4. やや短い  | 5. とても短い |          |

問 13 今回の町民討議会議の「開催曜日・時間帯」についてどのように思いましたか。次  
の中から1つ選び○をつけてください。

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1. 土曜日または日曜日がよい        | 2. 平日の昼間 (10時~18時) がよい |
| 3. 平日の夜間 (19時~21時) がよい | 4. どちらでもよい             |

問 14 町民討議会議に対するご意見についてお聞かせください。

- (1) 町は総合計画について町民討議会議での討議に十分な量の情報公開をした  
全く あまり どちらとも やや 非常に  
そう思わない そう思わない いえない そう思う そう思う  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (2) 町は町民討議会議で総合計画について誰もが理解できるよう情報提供をした  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (3) 町民討議会議において、町民は誰でも発言できる機会があった  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (4) 町民討議会議において、町民は誰でも議論に参加できた  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (5) 今後、町は総合計画実現のための事業に町民討議会議の意見を反映させる  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (6) 今後、町が総合計画を見直すときには町民討議会議の意見を反映させる  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (7) 町民討議会議の参加者は無作為に選ばれるので、町民全体の意見を代表していた  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (8) 町民討議会議では多数だけでなく、少数の意見も反映された  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (9) 町民討議会議は議論に時間がかかり無駄だ  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (10) 町民討議会議は多くの予算がかかり無駄だ  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (11) 町民討議会議の開催は全体としてよいものだ  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (12) 今後の第4次総合計画見直しに向けて町民討議会議はよい提案ができた  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う



**問 15 町民討議会議にあなた自身が参加してどのように思われましたか。**

- (1) 町民討議会議に参加すれば、自分の視野を広げることができた  
全く           あまり           どちらとも           やや           非常に  
そう思わない   そう思わない   いえない           そう思う           そう思う  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (2) 町民討議会議に参加すれば多くの新しい知識と情報を得られた  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (3) 町民討議会議で、自分とは異なる関心や見解を持つ人と知り合うことができた  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (4) 町民討議会議を通して、他の参加者と信頼関係を築くことができた  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (5) 町民討議会議によって地域の問題についての今後の町民の協力が活発になる  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (6) 町民討議会議によって総合計画についての町民の関心を高めることができる  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (7) 町民討議会議によって総合計画についての町の取り組みも進む  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (8) 町民討議会議によって町の政策に対して町民の影響が大きくなる  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (9) 町民討議会議へ参加するのは、時間の負担が大きい  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う
- (10) 町民討議会議へ参加するのは、他の参加者に気をつかうのがわずらわしい  
そう思わない 1-----2-----3-----4-----5 そう思う

**問 16 良かった点、改善すべき点、その他ご意見、ご感想など、ご自由にお書きください。**

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

## 2 日目事後アンケート自由記述一覧

- ・こういう機会を作る努力に敬意を表したいと思います。豊山町の総務課の方々の前向きな姿勢と参加者への親切な対応に好感が持てました。ありがとうございました。
- ・弁当つきで謝礼(商品券 5000 円)でよいのでは…。3 時のコーヒー、おいしかった。こうした配慮を！
- ・町役場の職員の質の高さに感動いたしました。よい機会を与えていただき、ありがとうございました。
- ・このような会議は是非続けて言っていたきたいと思います。とても有意義な時間であったと思います。2 日目はディスカッションのテーマも難しかったので、事前にディスカッションテーマを知らせていただくと考えて良かったのでは。
- ・参加出来て良かったと思います。改善すべき点はまだよくわからない。範囲が広すぎて…。もっとにつめていけ●、もっとはつきりすると思います。
- ・町民討議会はもと若い 30 代 40 代がいいと思います
- ・いろいろな意見が聞けて良かった。10・20・30 年ではなく早急にできることはしてもらいたい
- ・参加させて頂いて非常に関心を高めました。
- ・自分たちの住んでいる町行政に対して、知識と関心が増しました。いろいろな意見を聞けてよかったです。
- ・グループ替えは同じ人が一緒になるクジではなくメンバーをきめてはどうか
- ・町事業を知るのによい機会だと思う。いろいろな意見を聞けて面白かった。参加者の方々がみな積極的に好意的だったと思う
- ・町行政に深く関心をもつことができた
- ・青山さざんか施設の屋上の草が生えているのは建設当初エコで電気還元してると聞きましたが、どのくらい還元しているのですか？知りたいです。
- ・町民の意見に対して改善して行ってほしい
- ・いろいろな問題が残る！
- ・色々な人との話合が出来た事
- ・1 つの目標で話し合っても、視点が違うと意見も多様で楽しかった
- ・写真を撮りすぎだと思った
- ・普通では出会わない人とのふれあいがあり、大変良かったと思う
- ・席替えは 1 日 1 回で良いのでは？未成年者も加えて若い世代から地元の事業に興味を持ってもらった方が良く考えます
- ・町民討議会議の問題点を洗い出し、改善を期待します
- ・私で考えられない項目が提案され、年代間の差を感じた。過去 30～40 年に言われたができなかったことを考えると今一度過去を検証してみたい。(以前あった問題①地下鉄の誘致、②総合病院建設(豊山診療所の廃止)などの問題点を考えてみたい

- ・参加者には前もって資料提示してほしい。考えて出席できる。太陽光の町から援助を多くしてほしい
- ・自分の意見(町を良くする為の)は持って参加したが、それを言う場ではないという事だと思  
い、別の機会が欲しい
- ・討議会議に出席するのは初めてなので、会議のあり方については意見はありません。ただ  
プレゼンの仕方はもう少し工夫するといいいかな(パワーポイントでの)と思いました。2日間  
の討議会議の期間中、皆さん真剣に話し合い、考え、発表されていて「ああ豊山町に愛着  
を持っているんだな」感じました。役場の皆さんよかったですね。私も豊山町に骨を埋め  
つもりですので、とてもうれしく思いました。
- ・会場がもう少し広いと良いと思う
- ・仕事を休んできているので、今回の討議を十分活用してほしい
- ・課題が多すぎ、分科会を作って討議する※グループのリーダーの意見にまどわされないよ  
うに
- ・もう少し若い人にも参加させるべきだと思う
- ・下水道工事。説明会では17:00には現状復帰して通行には問題ないと説明があったけ  
ど、始まったら19:00過ぎが当たり前でやっている。資材置き場周辺の騒音、振動がひど  
い

# あなたの声を聞かせてください

## 協働のまちづくりを実現する

### 町民討議会議を開催します

特集

「小さくてキラリと輝くまちづくり」、第四次総合計画におけるまちづくりの基本理念です。

最近では、人と人とのつながりが一般に薄くなっていると言われていいます。しかし、本町では、いまでも地域のつながりが強く残り、住民同士だけではなく、住民と行政の距離も緊密です。

これは、町域がコンパクトであるということが本町の強みのひとつです。この強みをこれまで以上に発揮し、行政と住民との一体感のある、協働のまちづくりを進めるための新しい試みが、今月号でご紹介する町民討議会議です。

#### 高まる協働の必要性と、まちづくりへの参加意欲

人々のライフスタイルや価値観が多様化し、行政サービスにも、よりきめ細かい対応が求められるようになっていきました。

その一方で、各種団体や個人の方々によるボランティア活動や、コミュニティ活動は活発になっています。また、その活動分野も防災や防犯、福祉や教育、環境など暮らし全般に広がっています。

第四次総合計画策定のために、平成二十年度に行った町民意識調査によると、六十七・六%の方が、町政に関心をもたれています。

まちづくり活動などへ参加したいという気持ちを持ってみえる方が、四十六%います。加えて、七十八・五%の方が、これからのまちづくりには住民の参加が必要だと思つたと回答されています。

この調査結果を踏まえ、第四次総合計画では、「住民と行政がともに考え、

#### まちづくりへの参加意欲

##### ①町政への関心



##### ②まちづくり活動への参加意向



##### ③住民参画や協働の必要性



■ ある・ややある □ あまりない □ ない □ 無回答

(平成20年11月町民意識調査より)

ともにつくる信頼のまち」をまちづくり目標のひとつとしています。そして、この目標を実現するためにいろいろな事業を行ってきました。

平成二十一年度の都市計画マスタープランの策定においては、ワークショップを開催し、多くの住民の方に参加・協力をいただきました。また、昨年度には、地域で活動している団体の皆さまによる情報交換会や、協働に関するシンポジウムを開催し、本町にふさわしい協働のあり方について、議論を深めました。

今回ご紹介する町民討議会議は、より多くの住民の皆さまに、まちづくりに参加する機会を提供し、町に関心を持っていただくことを目的としています。

#### 参加者は無作為抽出で募ります

町民討議会議とは、町の施策について、住民の皆さまに議論していただき、その結果をまちづくりに活かそうという試みです。

これまでも各種審議会において、住民の皆さまにも委員としてご参加いただくことがありました。

しかし、専門家や有識者の中では、なかなか意見を言いにくかったり、参加者も固定化する傾向がありました。



# 全国に広がる市民(町民)討議会

市民討議会は1970年代にドイツで始まり、その後、少しずつ世界に広がっていきました。



日本では平成17年に東京青年会議所が日本で初めての市民討議会を開催し、翌平成18年には三鷹市で行政と三鷹市青年会議所との共催が実現。その後、全国各地の自治体で採用

されつつあります。

テーマは自治体によってさまざまです。

防犯や防災のアイデアを考えたり、子どもにとって住みやすい町について考えたり、総合計画や福祉計画について話しあったりもします。

共通しているのは、「無作為で選ばれた住民が、自分たちの住んでいる地域について語り合うこと」です。



協働によるまちづくりを広めるためには、特定の団体に属していない方や、特別な知識や経験のない方にも、町政に積極的にご参加いただき、いろいろな立場や価値観を互いに尊重しながら、一緒に考えていく必要があります。そこで、町民討議会を開催するにあたっては、従来のように委員の一部について公募制でご参加いただくのではなく、すべての参加者について、住

民の皆さまの中から、無作為抽出で選ばせていただくこととしました。世代や職業など、立場を超えた人々が集まり、自由に意見を交わしていただくことによつて、これまでになかった新しい意見や、新たなまちづくりの担い手やグループが生まれることを目指しています。最初の年である今年度は、町の行財政の道筋を示す、第四次総合計画をテ

ーマにして行う予定です。総合計画というと難しく感じられるかもしれませんが、その一つ一つは、住民の皆さまの日常生活に深く関わっていることです。

議論の前には、役場の職員や専門家などから、情報提供や説明がありますので、特別な準備や知識がなくても参加できます。

## 会議は二日間行います

会議は十月三十日(日)と、十一月六日(日)の二日間、社会教育センターの研修室で行います。

時間は、いずれも午前十時から、途中で休憩をはさんで、午後四時くらいを予定しています。

会議といっても、型どりのものではなく、いくつかのグループに分かれて、テーマに沿って自由に話し合い、交流を深めながら、まちづくりについて話し合います。

また、ご参加いただいた方には、謝礼として、二日間で六千円相当の商品券を会議終了後にお渡しします。

なお、会議の実施にあたっては、本町と官学連携協定を結んでいる、愛知学泉大学の現代マネジメント学部のご協力をいただきます。

## 二千人に案内状を送ります

住民基本台帳から十八歳以上の方、二千人を無作為で抽出し、案内をお送りします。

案内には申込書と、協働のまちづくりに関するアンケートが入っています。参加をご希望される方は、申込書をご返信ください。

また、アンケートについては、参加を希望される方でも、希望されない方でも、ご返信いただくことができます。協働のまちづくりについてのご意見をお聞かせください。

なお、会議の定員は五十名です。案内状に対する返信の結果、希望者が五十名を超えた場合は、抽選の後、決定のご案内をお送りします。

無作為抽出は世帯に関係なく行いますので、一つの世帯に、お二人以上の案内が届く場合もあります。

参加申込みについての詳細は、広報とよやま八月号で、あらためてお知らせします。

▼問合せ 総務課企画財政・情報係  
☎28・0913



# 町民討議会議の案内をお送りします

## 無作為抽出で二千人に

広報七月号でお知らせしました町民討議会議にご参加いただく方を募集します。

本町の住民基本台帳から十八歳以上の方、二千人を抽出し、案内をお送りします。送付時期は九月初旬です。案内には申込みはがきと、協働のまちづくりに関するアンケートを同封します。

会議への参加をご希望される方は、申込書をご記入の上、アンケートと一緒にご返信ください。なお、参加を希

望されない方でも、アンケートをご返信いただくことができます。

会議は二日間開催します。二日間とも参加できる方を募集します。

会議の定員は五十名です。定員を超えた場合には、抽選を行います。

▼とき 十月三十日(日)・十一月六日(日)の二日間、いずれも午前十時〜午後四時(予定) ▼ところ 社会教育センター 研修室一▼謝 礼 二日間で六千円相当の商品券▼問合せ 総務課企画財政・情報係 ☎28・0913

# 県営名古屋空港 青森線が就航しました

いわて花巻線に続き、7月2日(土)から、県営名古屋空港と青森空港を結ぶ路線が就航しました。

これを記念して、7月1日(金)に、青森県からミスねぶたや青森県産品のキャラクター「決め手くん」らが町を訪れ、青森県のPR活動を行いました。



これで県営名古屋空港の路線は、福岡、熊本、岩手、青森と4路線となりました。

いずれの路線も、町民の皆さまを対象にした県営名古屋空港利用促進助成金(大人片道3,000円、小児1,500円、利用回数制限なし)がご利用できます。

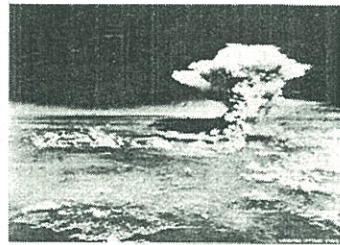
▶問合せ 総務課企画財政・情報係 ☎28・0913

## 「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル展」を開催します

「世界の恒久平和は、人類共通の願いである」、豊山町平和都市宣言はこううたっています。

この宣言に基づく事業として、戦争の悲惨さや平和の大切さについて学び、考えるために、パネル展を開催します。

広島や長崎の原爆被害の様子や、現在の核兵器の状況などについて、写真や図表を用いて分かりやすく紹介します。



▼とき 八月一日(月)〜八月十五日(月) ▼ところ 役場一階 ロビー▼問合せ 総務課総務・防災係 ☎28・6003

## 水生生物調査を行いました

七月一日(金)に新栄小学校の児童が、大山川の水生生物調査を行いました。

新栄小学校北側の大山川に五年生全員の総勢三十七名が川に入って、どのような水生生物がいるかを調べました。ヨシノボリやクロメダカのほか、

モクスガニ、手長エビなどいろいろな生物を捕獲しました。

羽黒トンボの幼虫が採取できた

り、鮎のそ

上も確認さ

れるなど、

少しづつ川

がきれいにな

っているの

がわかりまし

た。

▼問合せ 建設課環境・安全係 ☎28・0916



## リサイクルステーション夏期休業

スカイプール駐車場で開設している資源収集リサイクルステーションを次の期間休業します。

▼休業期間 八月十三日(土)〜八月十四日(日) ▼問合せ 建設課環境・安全係 ☎28・0916

## し尿収集夏期休業

夏期休業のため、し尿汲取と浄化槽清掃作業を休業します。

▼休業期間 八月十三日(土)〜八月十五日(月) ▼問合せ 豊衛工業(株) ☎28・0524 建設課環境・安全係 ☎28・0916



# 町民討議会議を開催しました

## 協働のまちづくりを実現するために

十月三十日(日)と十一月六日(日)の二日間にわたって、社会教育センター研修室二において、町民討議会議を開催しました。

無作為抽出で選ばせていただいた町民の方が参加し、活発な議論を繰り広げました。

テーマは町の第四次総合計画でした。三十年後の豊山町で実現してほしい目標を考えることからスタートし、総合計画を実現するために、住民が協働すべきと思う事業や、本町に重要だと思ふ事業などについて、議論



し、グループごとに発表しました。

四十二名の参加者は、十八歳から八十五歳までと年齢層も幅広く、また、学生の方からお勤めされている方、定年を迎えた方なども参加し、世代や職業を越えた交流の場にもなりました。

終了後のアンケートでは、「普通は会わない人とのふれあいがあった」、「同じ目標について話し合っていた」、「視点が違うと意見も多様で楽しかった」、「町の事業を知るのによい機会だと思ふ」などの意見がありました。

町民討議会議は、来年度以降も行う予定です。参加のお願いが届いたときには、ぜひ、積極的にご協力ください。  
▼問合せ 総務課企画財政・情報係 ☎28・0913

## 県営名古屋空港を探検しよう

名古屋空港周辺の地域住民の皆さまに、空港や航空文化について、もっと知っていただくために、県営名古屋空港の施設見学会を開催します。

展望デッキや滑走路の見学のほか、昨年10月に就航を開始しました(株)フジドリームエアラインズ(FDA)によるプレゼンテーションも予定しています。

▶とき 12月20日(火) 午後2時～午後4時(集合は午後1時45分)▶ところ 県営名古屋空港▶対象 町内在住の方▶応募数 6名▶参加費 無料▶締切り 12月9日(金)▶主催 名古屋空港周辺環境対策協議会▶問合せ・申込み 総務課企画財政・情報係 ☎28・0913



## 簡易型放射線測定器をお貸しします

簡易型放射線測定器の無償貸出を行っています。

測定器は空気中にある放射線の量を測るもので、単位はマイクロシーベルト毎時です。ボタンひとつで簡単に測定できます。



測定器は一台のため、貸出時期のご希望に添えない場合もありますので、ご了承ください。

▼対象者 町内在住の方など▼貸出期間 七日以内▼貸出機器 一台(株式会社堀場製作所製、Radi PA-1000)▼貸出料 無料▼問合せ 総務課総務・防災係 ☎28・6003

## NTTドコモ緊急速報「エリアメール」を導入しました

エリアメールは、その地域にいる方に対して、緊急に周知しなければならぬ事態が発生した場合に、緊急地震速報や災害・避難情報などを携帯電話に一齐にメールで配信するサービスです。

対象となるのは、町内にいる、NTTドコモのユーザーの方です。居住地が豊山町でなくても、配信時に町内にいれば、自動的にメールが送られてきます。

事前にメールアドレスの登録は不要で、受信料金もかかりません。

ただし、平成二十年以前の機種をお持ちの方は、事前に登録が必要です。

▼サービス開始日 十二月一日(木)▼対象地域 豊山町全域▼気象庁から配信する情報 緊急地震速報▼町から配信する情報 避難勧告、避難指示・東海地震予知情報・国民保護情報など▼ホームページ NTTドコモ緊急速報「エリアメール」 <http://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/areamail/>▼問合せ 総務課総務・防災係 ☎28・6003

## 町立保育園の非常勤職員(保育士・調理員)の登録者を募集します

この登録は、非常勤職員(保育士・調理員)として就労を希望する方にあらかじめ登録をしていただくものです。

登録後、すぐに採用されるものではありませんが、欠員が生じた場合に選考の上、雇用します。

保育園業務に関心がある方は、ご登録ください。

▼対象 保育士の資格をお持ちの方・調理員については資格を問いません▼登録方法 履歴書(写真付き)、保育士証の写し(保育士希望の方のみ)を福祉課福祉・少子係へ持参または郵送してください▼郵送先 〒480-0292(住所記載不要)豊山町生活福祉部福祉課福祉・少子係▼問合せ 福祉課福祉・少子係 ☎28・0912



【日付】 23.11.-1

【新聞名】朝日 読売 毎日 中田(近郊版含む) 中部経済 建通

【記事詳細】

# 独をモデルに参加型まちづくり

町の将来について議論する住民たち  
豊山町社会教育センターで



## 「町民討議会議」 豊山町が初開催

### 行政反映へ 42人熱く意見

豊山町は、ドイツの住民自治の手法をモデルにした「町民討議会議」を町社会教育センターで初開催した。住民基本台帳で無作為に選ばれた十八歳以上の町民四十二人が出席し、今後のまちづくりについて自由に意見を出し合った。

(平井剛)

出席者のほとんどは初対面だったが、各グループで熱心に議論。同町青山東栄の大学生佐原和子さん(一八)は「交通が便利になれば住みよい町になると思う」と今後の施策に期待した。

グループで討論と意見発表をした。三十年後に実現してほしい町の目標として公共交通の整備や企業誘致、総合病院の建設などを挙げた。「第一のイチョロ「選手」を輩出するためスポーツ振興にもっと力を入れてほしい」との意見もあった。

町が昨年度から取り組む第四次総合計画に對しては、災害対策の強化を求める意見や、人口を増やすには子育てしやすい環境だけでなく働き口を確保することが必要との意見が

進行役を務めた愛知学泉大の伊藤雅春教授によると、この討議は議会や選挙ではくみ取れない民意を把握する手段として、五年ほど前から国内でも導入が進んでいる。

意見が今後の行政運営に反映されるだけでなく、「まちづくりへの住民参加意識を高める契機にもなる」と伊藤教授は意義を語る。

六日に二回目の会議を開く。町は来年度以降も出席者を入れ替えて開催する方針だ。



# 社説

Editorials

## 辺野古移設反対の声を上げよう

無職 川崎 和弘  
千葉県成田市 69

米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)を名護市辺野古へ移設するための環境影響評価書(環評書)をめぐる、不適切な発言をした防衛省の田中聡・沖縄防衛局長が更迭された。表現の自由は守られておき、これは政府の本音ではないかと思ふ。沖縄戦で犠牲になり、戦後は人身御供のように米軍に差し出され、本土復帰後も基地が残った沖縄。それなのに日本政府や官僚は米軍を沖縄にため置き、日米同盟を強化しようとするだけで、沖縄県民

かたについても正確な判断はできない。吉田所長の行動に報いるためにも、被曝線量は公表すべきである。

と向き合おうとはしていない。県民の意思は、米軍基地への負担を軽減させ、長期的には基地の撤廃に持っていくことだ。普天間の国外・県外移設を米国に求める努力をしてこなかった政府への不満は募るばかりだ。

政治家や官僚が米国の代弁者となって辺野古受け入れを迫る中で、国民が取るべき道は日米両政府へ「県内移設はもはや困難だと認めざるを得ない」と伝えること。米国防守をめぐり自主的平和外交の道を日本に生まれ変わるよう政府に訴えることだと思ふ。

## 提言 政治を鍛える

# 「自分たちで決める」が原点だ

きょう、岩手県大槌町は復興のひとつの節目を迎える。町内の10地区が、それぞれ2カ月かけて検討してきた復興計画の案を持ち寄る。前町長をはじめ、住民の1割近い1300人余りが犠牲になった町が、再起へまた一歩を踏み出す。高さ14・5mの防潮堤を築くのか。もっと低くして、盛り土の上に住宅を建てるのか。コンサルタント会社が地区ごとに描いた複数の復興計画のたたき合を、隔週末に地元の体育館などで、数十人から時には100人を超えて住民が、図面を囲んで車座になって議論してきた。町の原因に住民の同意を求める手法ではなく、町民に決めてもらう。そのため、町職員は発言せず、大学教授ら第三者が進言役を務めた。

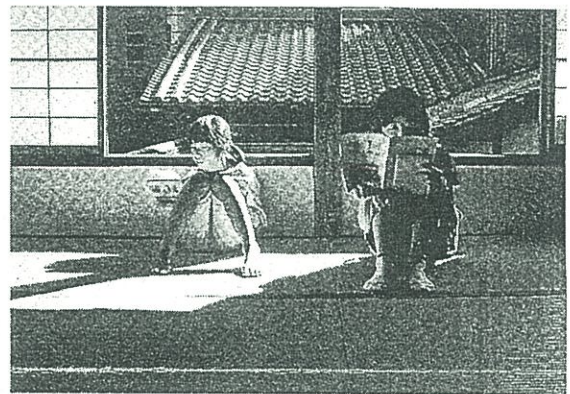
住民主体で決めたのは、8月に選ばれた薩川豊町長だ。「まずは住んでいる人たちに議論してもらいたいのが基本、それが自治というところ」。

役場機能を取り、復興に出遅れた町が行き着いたのが、拙速を選び「自分たちで決める」という自治の原点だった。

新しい参加のかたち

いま、各地にさまざまな住民参加が広がっている。地方議会を傍聴する住民が、議員の仕事ぶりや「通信簿」や「白書」で評価する動きが、仙台市や神奈川県川崎市、相模原市、千葉県佐倉市、兵庫県尼崎市などで盛んだ。

無作為に選ばれた住民が地域の課題を話し合い、役所に進言する「市民討議会」も増えてい



日溜まりの中 大阪市西成区 松本 由美子 (朝日写真展)

精製されるブルトニウムを本原燃には税金の無駄遣いをと「へ移動させようというのをするなど言いたいです。」

序論 政党国会 選挙制度 国民投票 自治

大地震にどう備えるのか。住民が傍観者でいるわけにはいかない問題が山積している。

議案を変えよう

4年に一度の選挙で知事や市町村長、議員を選挙。それだけで私たちは主権者といえるのだろうか。もっと、役所や議会との距離を縮めよう。

まずは議会だ。落選したときを考えれば、一般の勤め人は出にくい。だから自営業など一部の職種の議員が居並び、住民構成とかけ離れた議会になる。住民は関心を抱かず、不信感を募らせる悪循環に陥っている。

会議を夜に開くなどの工夫はもちろんだ。職場の仕事と議員活動を両立できる休職制度や、議員が議席を持ったまま首長選挙に立候補する制度などの仕組みを整えよう。

いまの議会には予算の提案権はなく、修正にも制約がある。住民に認められている条例制定などの直接請求では、地方税は対象にできない。

こうした地方自治法の規定が、議会や住民を「自治体の財政」に関する議論から遠ざけていくことの指摘がある。法改正を検討してもいいだろう。

有権者の関口も広げよう。「選挙制度」でも提言したが、若者に地域のことを考えてもらうため、地方選挙権は16歳から認める。永住外国人にも地方選挙の投票権を与えよう。「日本国籍を認めない」という反対論も根強いが、地域の1員として暮らす人々を排除しないことで、多様な意見が行き交い自治が豊かになる。

もっと住民に開こう

住民投票制度も進化させる。住民投票のテーマごとに案例をい

高校時代、「なりた職業」(勉強したいこと)を早く見つけようと言われた。結局どちらも見つからず、4年制大学の社会学部へ。専攻分野とは無関係の企業に就職した。

最近、めいめいの誕生日を機に、乳幼児の行動や心理に興味を持ち、保育士になりたいと願うようになりました。しかし

父の父は「ちち」なのは

主婦 柴山 すみえ  
(北九州市八幡西区 63)

紅葉前線も南下して、秋の気配も濃くなってきた。神社の境内は五七五を祝う家族連れでにぎわうようになり、団塊の世代も祖父母となり、進歩ながらも人生2度目の子どもたちの成長に関わる機会を与えてもらっている。

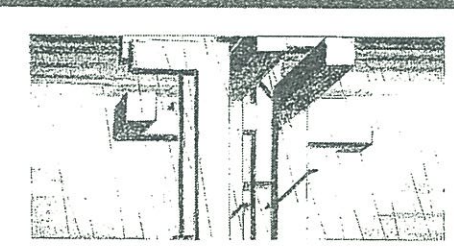
世間では祖父母をターゲットにした子ども向け商品がヒットしているらしい。こ

あつという間に成長した孫からかな書きの可愛い便りも届く。早速かな書きで返事を書いたり、ははは馬鹿なりの昨今だが、文末の差出人の名を書く時、いつも戸惑ってしまふ。「じい」「ばあ」「おじ」の時だ。

辞書を見ると「じい」「ばあ」「おじ」「おば」がある。父・母に濁点がついて「じい」「ばあ」「おじ」「おば」のようか。

としても最短で32歳。厳しいのでは?」と言われ、二の足を踏んでいます。自治体も企業も採用では、若さを重視するのではないのでしょうか。30歳で「なりた職業」を目指したい私には大きな壁となりませう。採用の可否は総合的に判断してほしいです。雇用を巡る柔軟な対応が、社会の活力になると思っています。

## Opinion



「核による抑止効果は限かない」。堂々と書つての、ルド・レーガン米大統領の言葉を聞いたジョージ・シュミットが核廃絶の合意「レイキャック合意」があった。それから四半世紀、あつた。それから改めて追求「ゼルス」郊外にあるレーガンで、専門家にいる国際会議で、専門家にいる国際会議で、止の限界を強調したのだ。核兵器は冷戦期の米ソ核を持っていたかも知れない。安全保障上の脅威は大きく多くがテロによる攻撃であることにはつきない。核テロテロだ。核報復による「おじいさん」である。父・母に濁点がついて「じい」「ばあ」「おじ」「おば」のようか。

核兵器の恐怖を世界に示す教訓についても語った。核兵器や核物質に関する間違いが生じたら、どれほど待たなければならないか。安んずる。人間が管理するテロで間違いが起きる。放射能の恐怖を世界に示す教訓についても語った。核兵器や核物質に関する間違いが生じたら、どれほど待たなければならないか。安んずる。人間が管理するテロで間違いが起きる。